

**高石市  
在宅介護実態調査  
報告書**

**令和5年3月  
高石市**



# 目 次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査目的 .....	1
2. 実施要領 .....	1
3. 報告書の見方 .....	1
4. 集計・分析における留意点 .....	1
<b>第2章 調査結果</b> .....	<b>3</b>
1. 要介護認定データ .....	3
(1) 年齢 .....	3
(2) 性別 .....	3
(3) 二次判定結果（要介護度） .....	4
(4) サービス利用の組み合わせ .....	5
(5) 障害高齢者の日常生活自立度 .....	6
(6) 認知症高齢者の日常生活自立度 .....	7
2. 基本調査項目について .....	8
回答者 .....	8
(1) 世帯類型 .....	9
(2) 家族や親族からの介護の頻度 .....	9
(3) 主な介護者 .....	10
(4) 主な介護者の性別 .....	10
(5) 主な介護者の年齢 .....	11
(6) 主な介護者が行っている介護の種類 .....	12
(7) 介護による離職の有無 .....	13
(8) 「介護保険サービス以外」の利用している支援・サービス .....	14
(9) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス .....	15
(10) 施設等への入所・入居の検討状況 .....	16
(11) 現在抱えている傷病 .....	17
(12) 訪問診療の利用の有無 .....	18
(13) 介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く）の利用の有無 .....	18
(14) 介護保険サービスを利用しない理由 .....	19
3. 主な介護者、もしくは本人用の調査項目 .....	20
(1) 主な介護者の現在の勤務形態 .....	20
(2) 介護をするにあたっての働き方の調整 .....	21
(3) 仕事と介護の両立に効果的だと思われる勤め先からの支援 .....	22
(4) 仕事と介護の両立の今後の見通し .....	23
(5) 生活を継続していくにあたり介護者が不安に感じる介護等について .....	24
4. 在宅限界点の向上に向けた支援・サービスの検討 .....	25
(1) 施設等への入所・入居の検討状況 .....	25
(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う主な介護者が不安に感じる介護 .....	27
(3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化 .....	29

5. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 .....	33
(1) 就労状況別の基本属性 .....	33
(2) 就労状況別の主な介護者が行っている介護と就労継続見込み .....	36
(3) 介護保険サービスの利用状況 .....	40
(4) 就労状況別の保険外の支援・サービスの利用状況と施設等検討の状況 .....	41
(5) 就労状況別の介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援 .....	43
6. 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の検討 .....	47
(1) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス .....	48
(2) 要介護度別の保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス .....	50
7. 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援の検討 .....	52
(1) 訪問診療の利用割合 .....	55
<b>第3章 資料（調査票） .....</b>	<b>57</b>

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査目的

この調査は、地域の高齢者が住みなれた地域でいきいきと暮らせる地域包括ケアシステムの構築を目指した「高齢者介護及び第9期介護保険事業計画」を策定するため、日常生活の様子や健康状態、介護の状況などをたずね、それぞれの実態やニーズなどを把握し、計画策定の基礎資料とするため実施するものです。

## 2. 実施要領

調査対象	配布数	回収数	回収率	調査期間	調査方法
要介護認定を受けている方とその方の主な介護者の方	1,200人 (無作為抽出)	659件	54.9%	令和4年 12月6日～ 12月20日	郵送配布・ 郵送回収

## 3. 報告書の見方

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・また、図表において回答の割合が0.0%の選択肢がある場合、その選択肢の図示を省略する場合があります。

## 4. 集計・分析における留意点

本集計・分析では、介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計しています。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。

それぞれ、用語の定義は次ページの通りです。

サービス利用の分析に用いた用語の定義

用語		定義
未利用		・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		・（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		・（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義

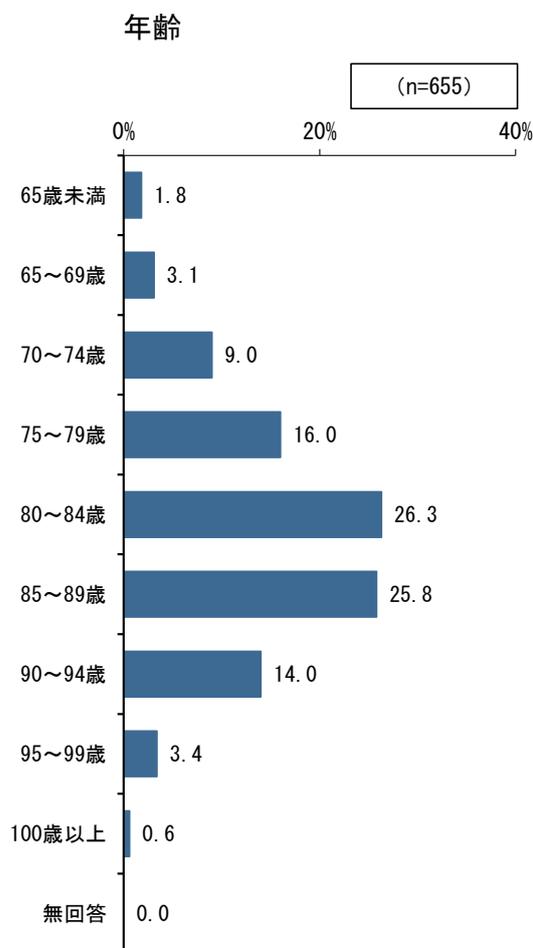
用語		定義
未利用		・上表に同じ
訪問系のみ		・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ		・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ		・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計しています。

## 第2章 調査結果

### 1. 要介護認定データ

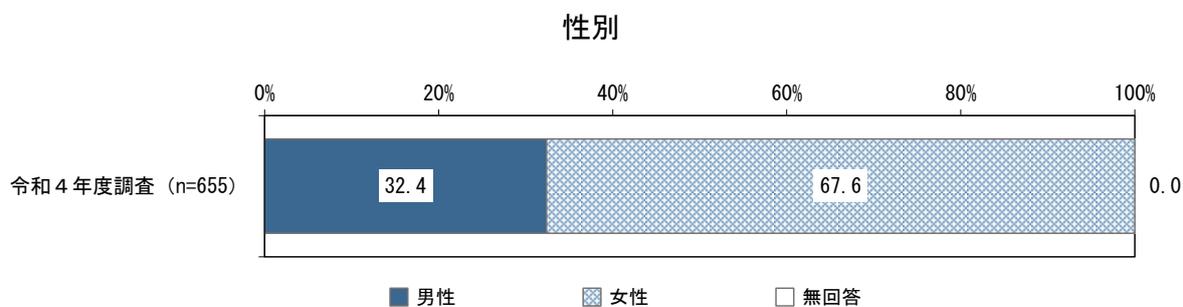
#### (1) 年齢

年齢については、「80～84歳」が26.3%で最も高く、次いで「85～89歳」が25.8%、「75～79歳」が16.0%と続いています。



#### (2) 性別

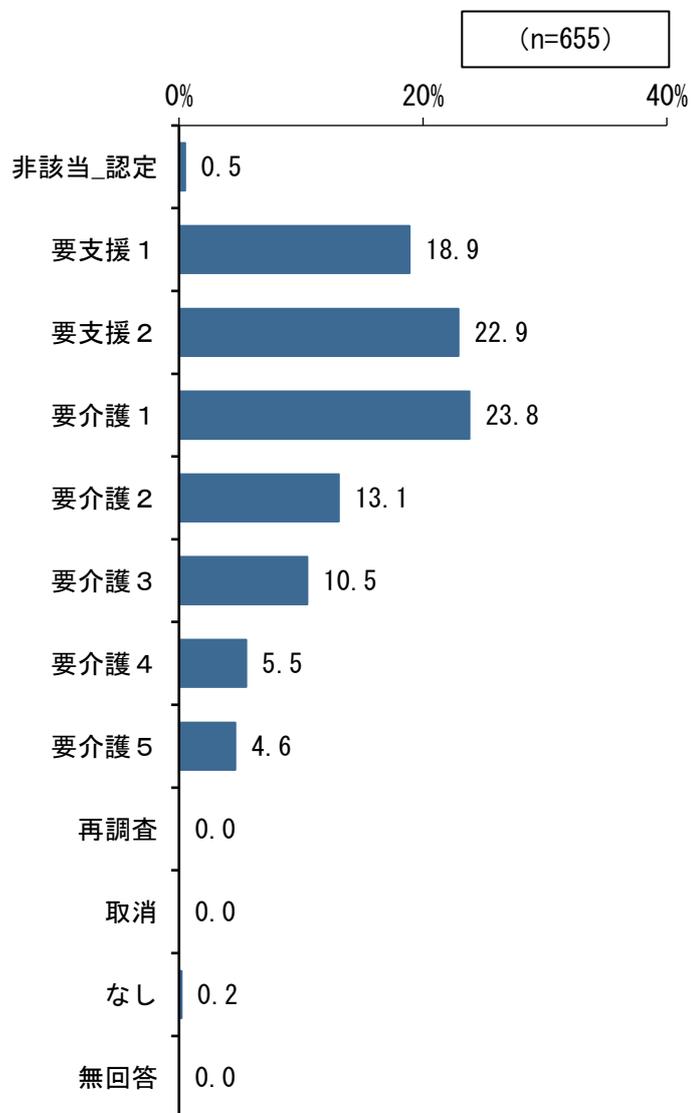
性別については、「男性」が32.4%、「女性」が67.6%となっています。



### (3) 二次判定結果（要介護度）

二次判定結果(要介護度)について、「要介護1」が23.8%で最も高く、次いで「要支援2」が22.9%、「要支援1」が18.9%と続いています。

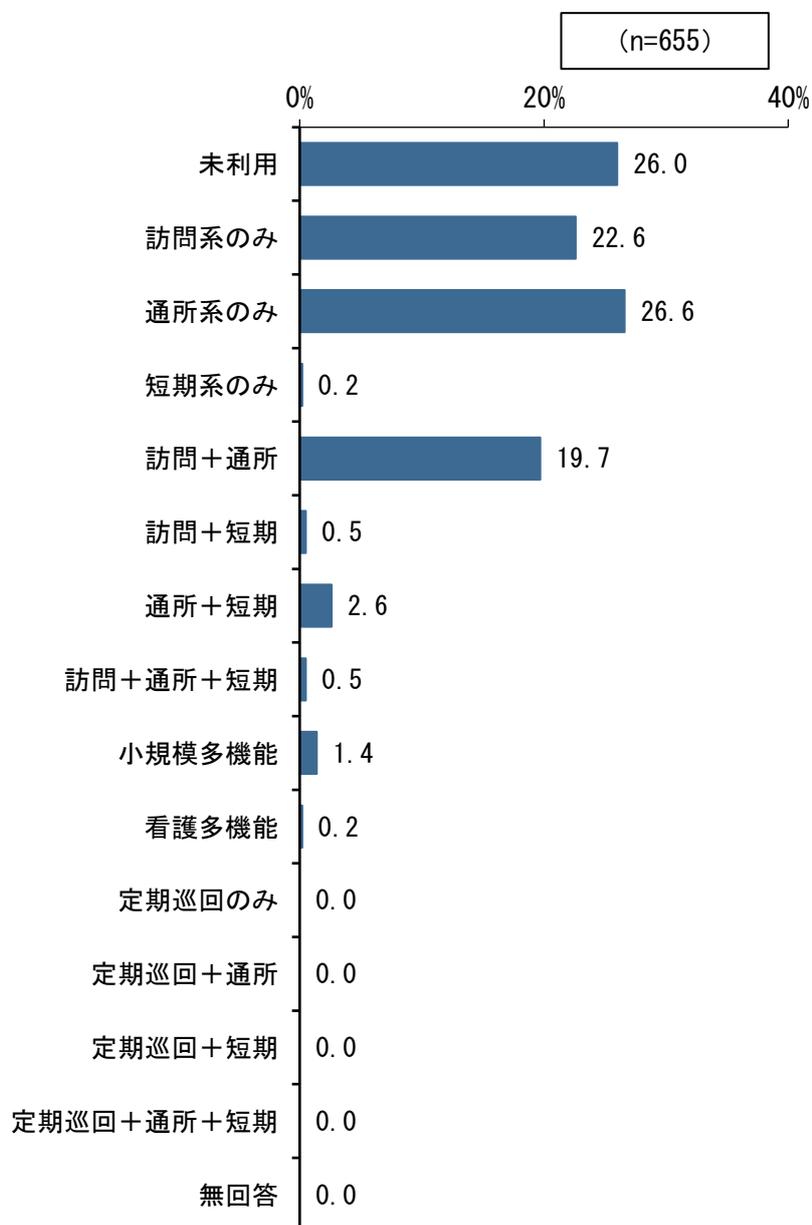
二次判定結果（要介護度）



#### (4) サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせについて、「通所系のみ」が26.6%で最も高く、次いで「未利用」が26.0%、「訪問系のみ」が22.6%と続いています。

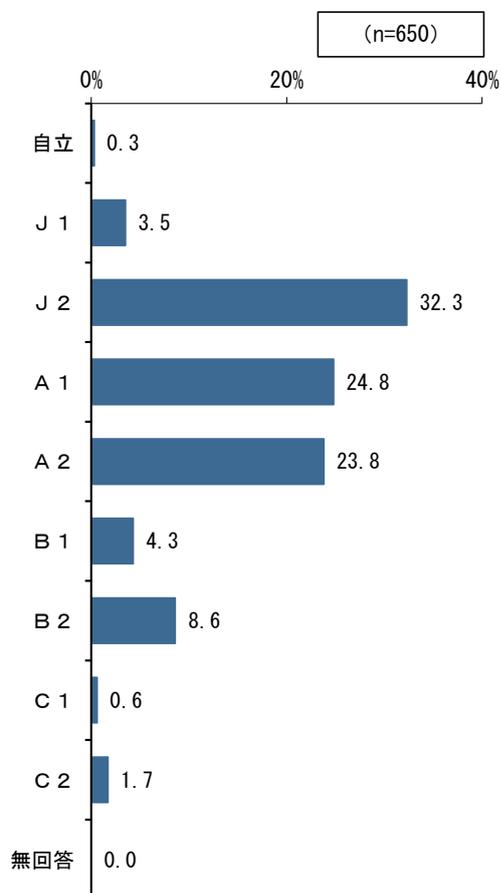
サービス利用の組み合わせ



### (5) 障害高齢者の日常生活自立度

障害高齢者の日常生活自立度について、「J 2」が32.3%で最も高く、次いで「A 1」が24.8%、「A 2」が23.8%と続いています。

日常生活自立度（障害高齢者）

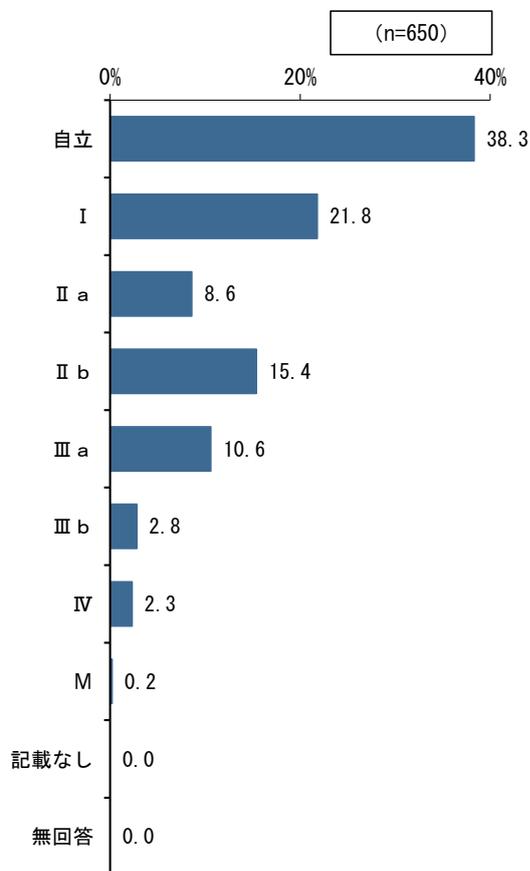


自立度	ランク	判定基準
生活自立	J	何らかの障がい等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する
	J 1	交通機関等を利用して外出する
	J 2	隣近所へなら外出する
準寝たきり	A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない
	A 1	介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する
	A 2	外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ
	B 1	車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う
	B 2	介助により車いすに移乗する
	C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する
	C 1	自力で寝返りをうつ
	C 2	自力で寝返りもうてない

## (6) 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度について、「自立」が38.3%で最も高く、次いで「I」が21.8%、「II b」が15.4%と続いています。

日常生活自立度（認知症高齢者）



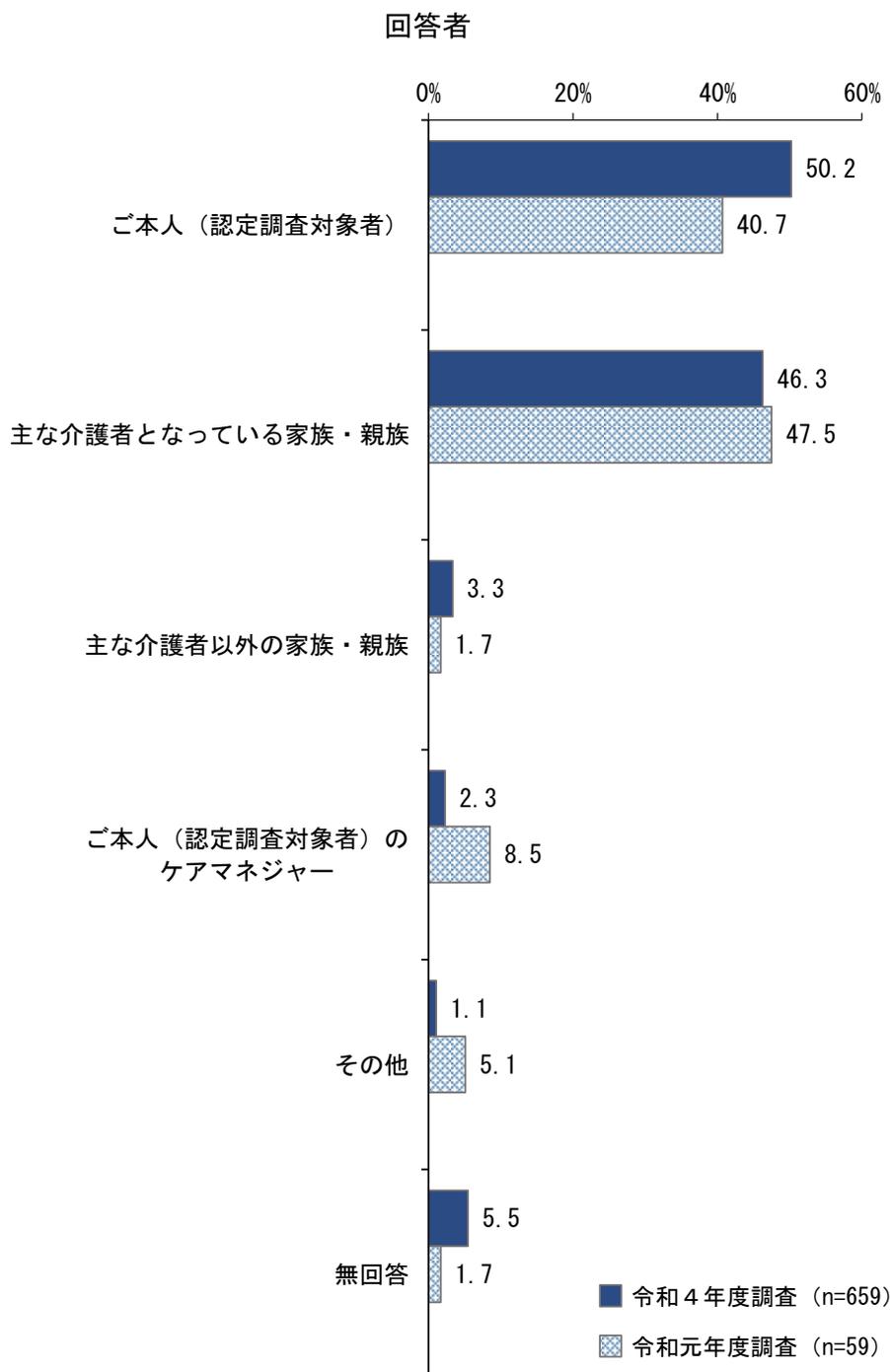
ランク	判定基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	
II a	家庭外で上記IIの状態が見られる	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる	着替え、食事、排泄が上手にできない、時間がかかる。 やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

## 2. 基本調査項目について

### 回答者

現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか	○はいくつでも
-----------------------------	---------

アンケート回答者については、「ご本人（認定調査対象者）」が50.2%で最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が46.3%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.3%と続いています。

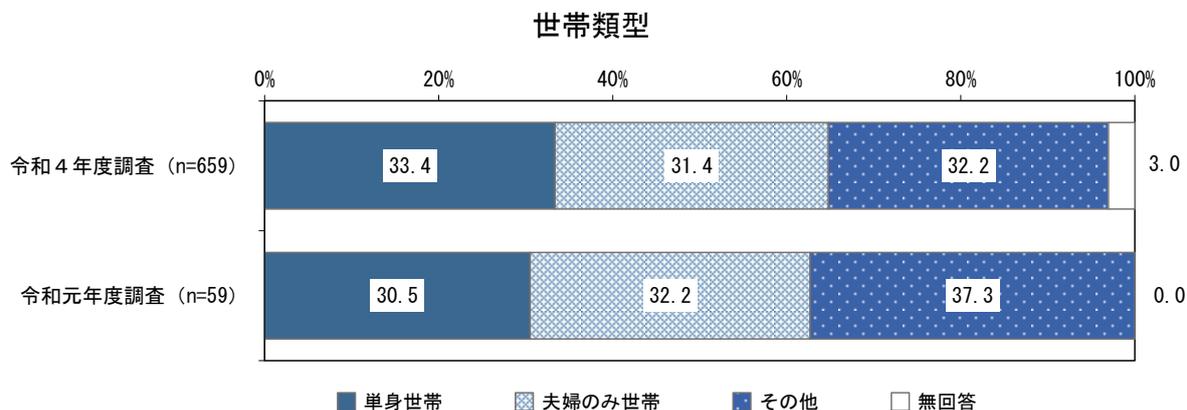


## (1) 世帯類型

問 1	ご本人(認定調査対象者)の世帯類型について、ご回答ください	○はひとつ
-----	-------------------------------	-------

世帯類型については、「単身世帯」が33.4%で最も高く、次いで「その他」が32.2%、「夫婦のみ世帯」が31.4%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「単身世帯」が2.9ポイント増加しています。

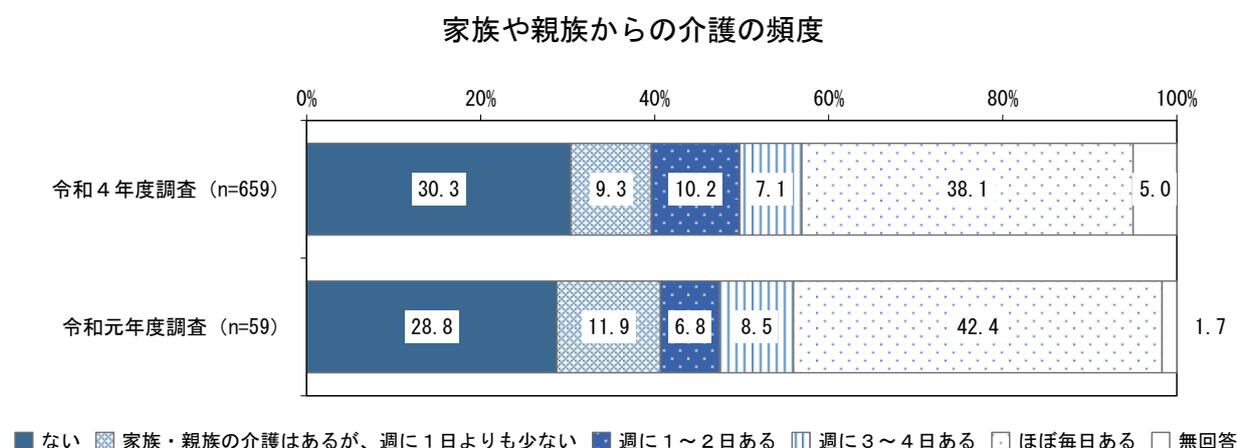


## (2) 家族や親族からの介護の頻度

問 2	ご本人(認定調査対象者)は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)	○はひとつ
-----	---	-------

家族や親族からの介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が38.1%で最も高く、次いで「ない」が30.3%、「週に1～2日ある」が10.2%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「週に1～2日ある」が3.4ポイント増加しています。

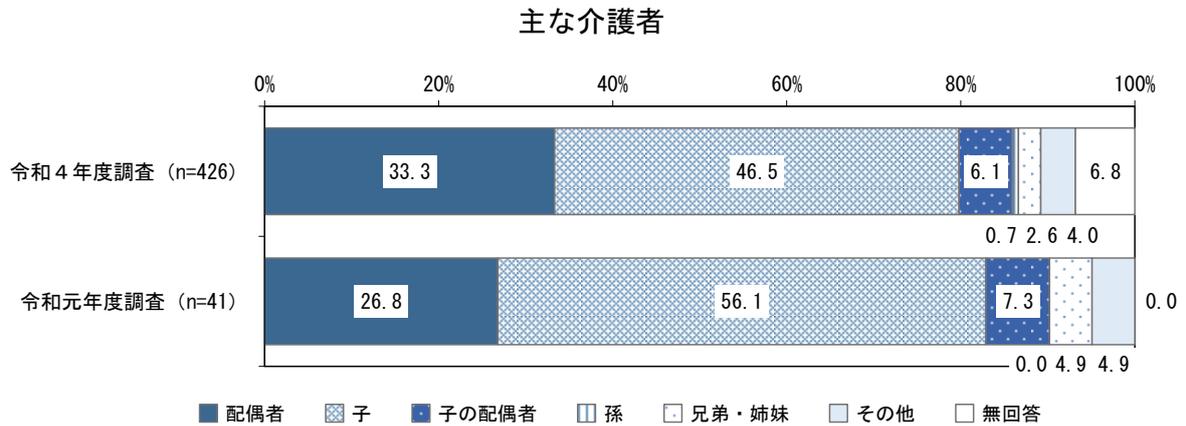


### (3) 主な介護者

問3	ご本人(認定調査対象者)を、主に介護している方は、どなたですか	○はひとつ
----	---------------------------------	-------

主な介護者については、「子」が46.5%で最も高く、次いで「配偶者」が33.3%、「子の配偶者」が6.1%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「配偶者」が6.5ポイント増加しています。

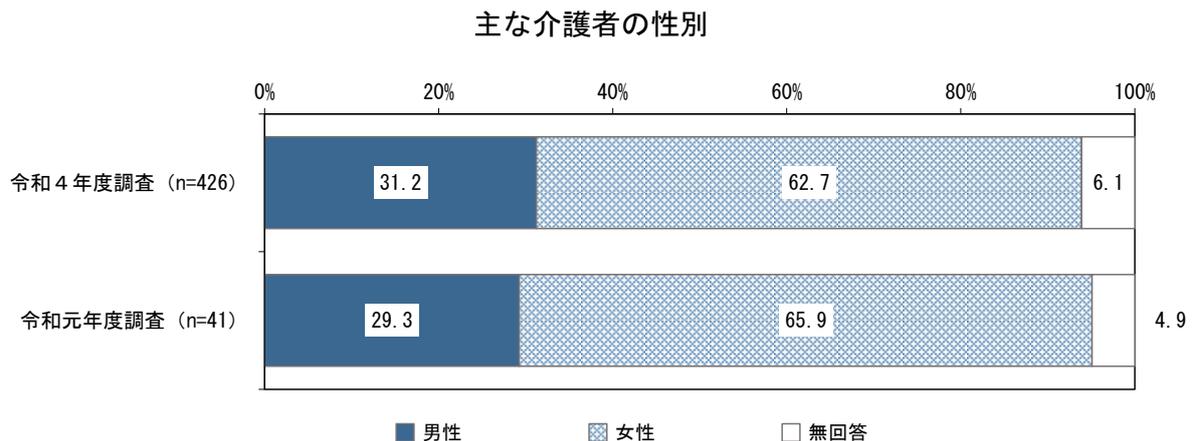


### (4) 主な介護者の性別

問4	ご本人(認定調査対象者)を、主に介護している方の性別について、ご回答ください	○はひとつ
----	--	-------

主な介護者の性別については、「男性」が31.2%、「女性」が62.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「女性」が3.2ポイント減少しています。

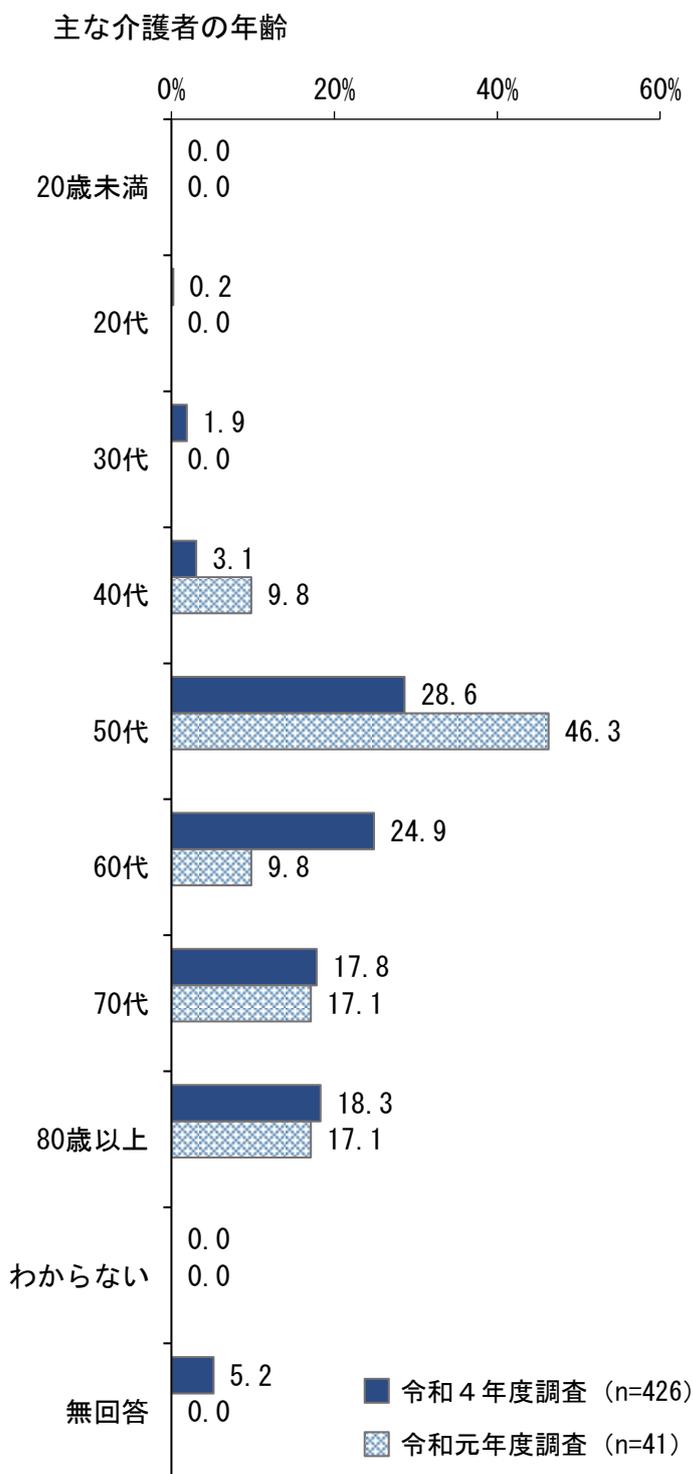


### (5) 主な介護者の年齢

問5	ご本人(認定調査対象者)を、主に介護している方の年齢について、 ご回答ください	○はひとつ
----	--	-------

主な介護者の年齢については、「50代」が28.6%で最も高く、次いで「60代」が24.9%、「80歳以上」が18.3%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「60代」が15.1ポイント増加しています。



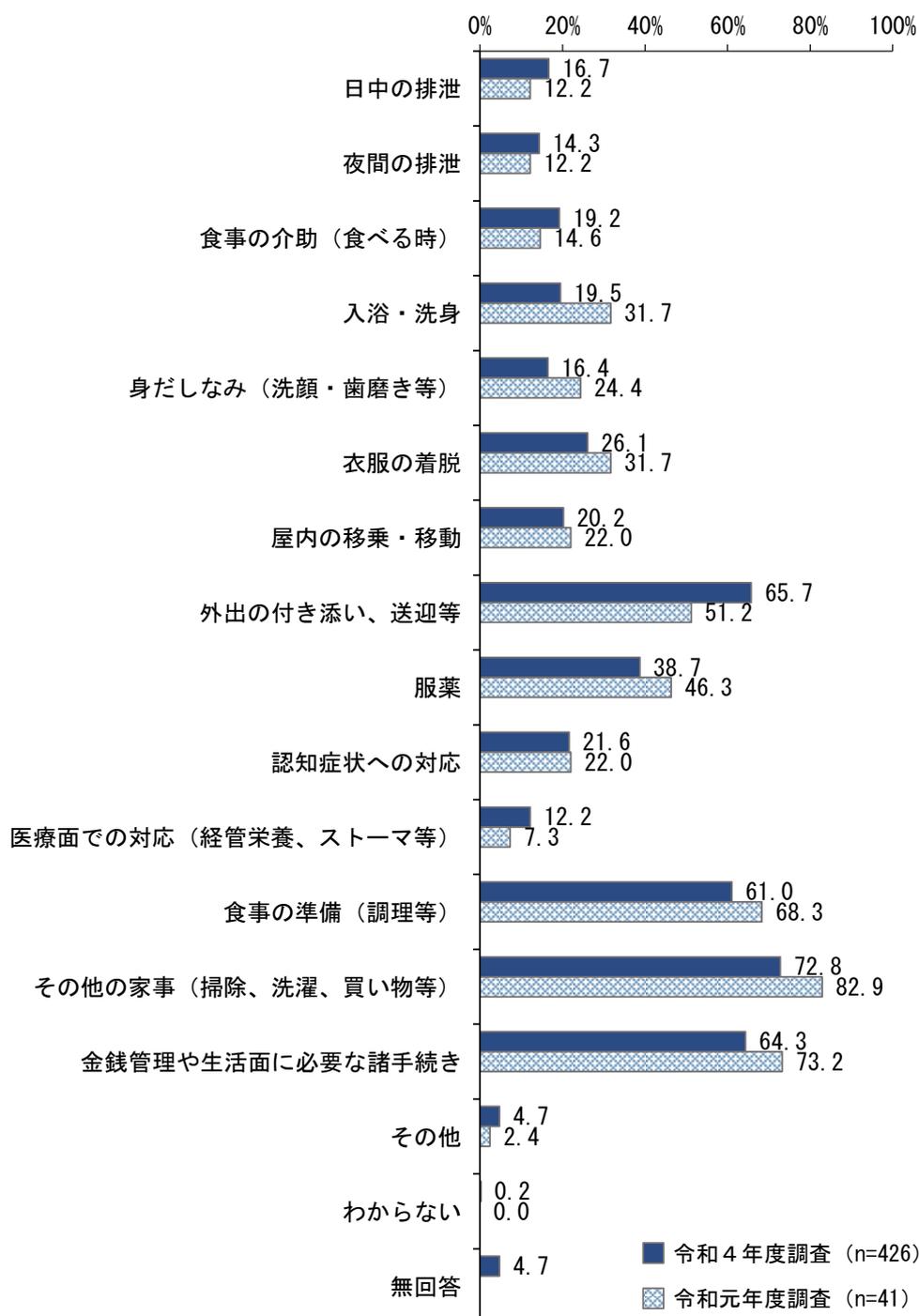
## (6) 主な介護者が行っている介護の種類

問6	現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください	○はいくつでも
----	---------------------------------	---------

主な介護者が行っている介護の種類については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が72.8%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が65.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が64.3%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「外出の付き添い、送迎等」が14.5ポイント増加しています。

主な介護者が行っている介護の種類



※「無回答」について、令和元年度調査には数値がありません

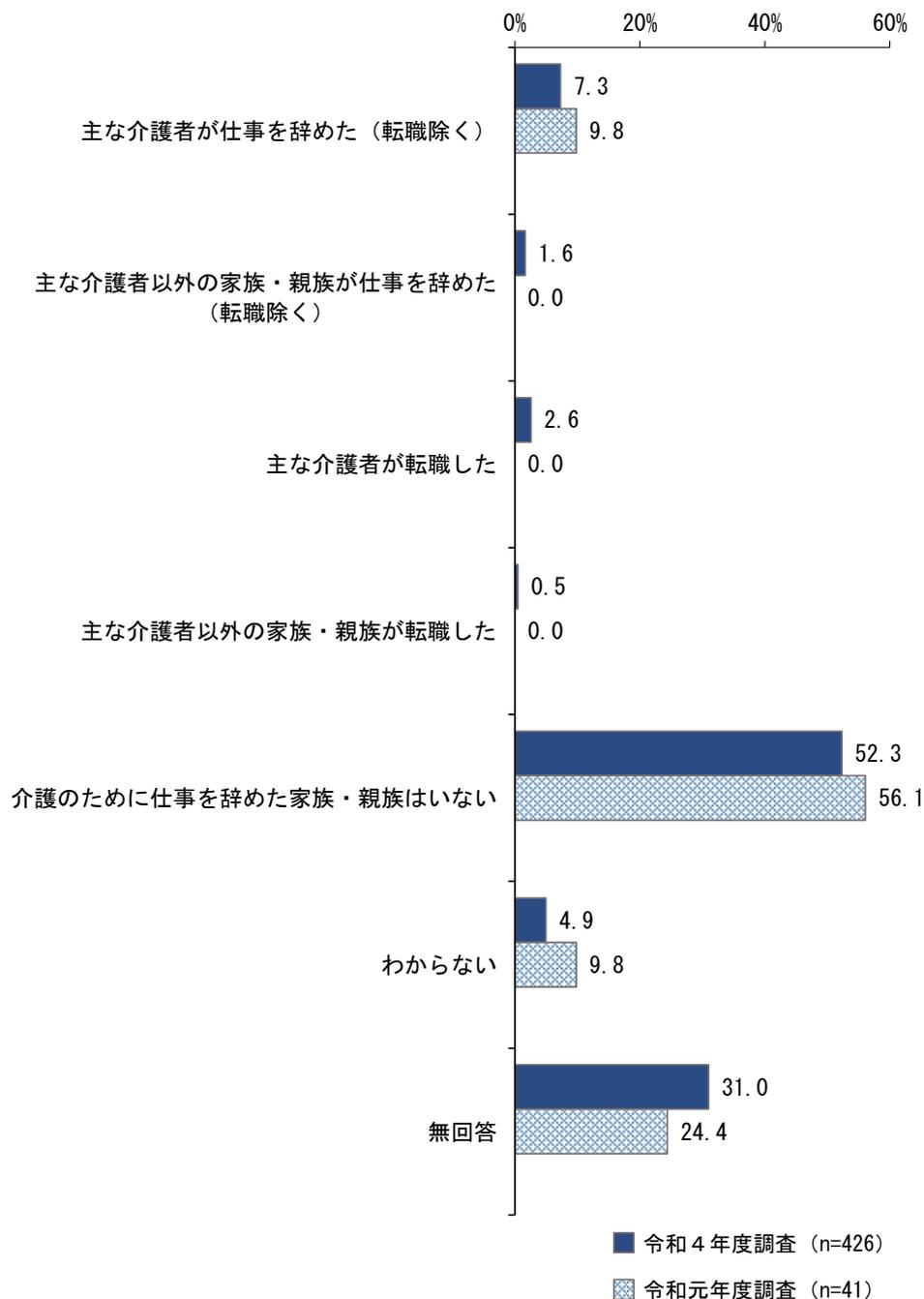
## (7) 介護による離職の有無

問7	ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）	○はいくつでも
----	--	---------

介護による離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が52.3%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.3%、「わからない」が4.9%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が3.8ポイント減少しています。

介護による離職の有無



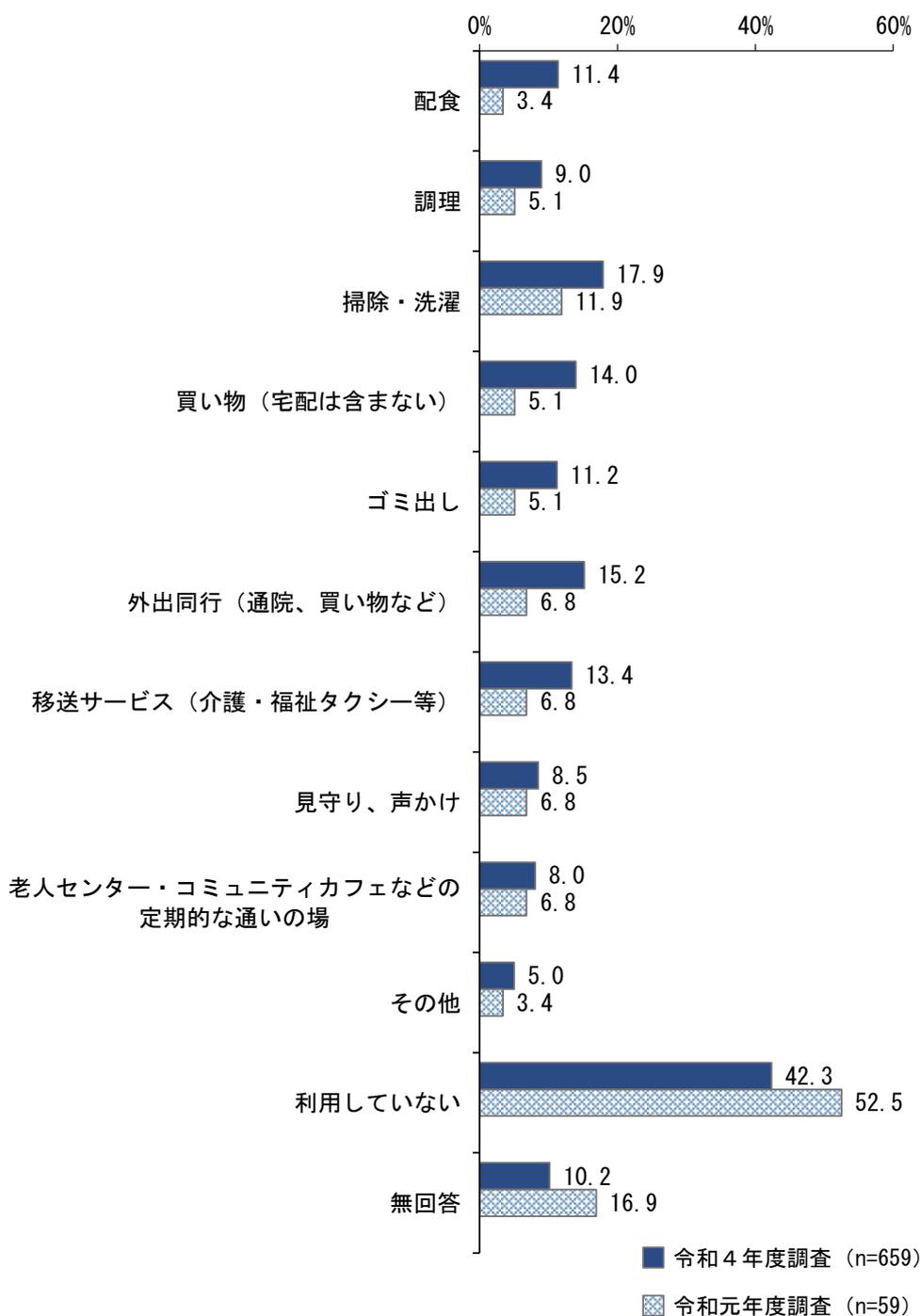
## (8) 「介護保険サービス以外」の利用している支援・サービス

問8	現在、ご本人（認定調査対象者）が利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください	○はいくつでも
----	---	---------

介護保険サービス以外の利用している支援・サービスについては、「利用していない」が42.3%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が17.9%、「外出同行（通院、買い物など）」が15.2%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「買い物（宅配は含まない）」が8.9ポイント増加しています。

介護保険サービス以外の利用している支援・サービス



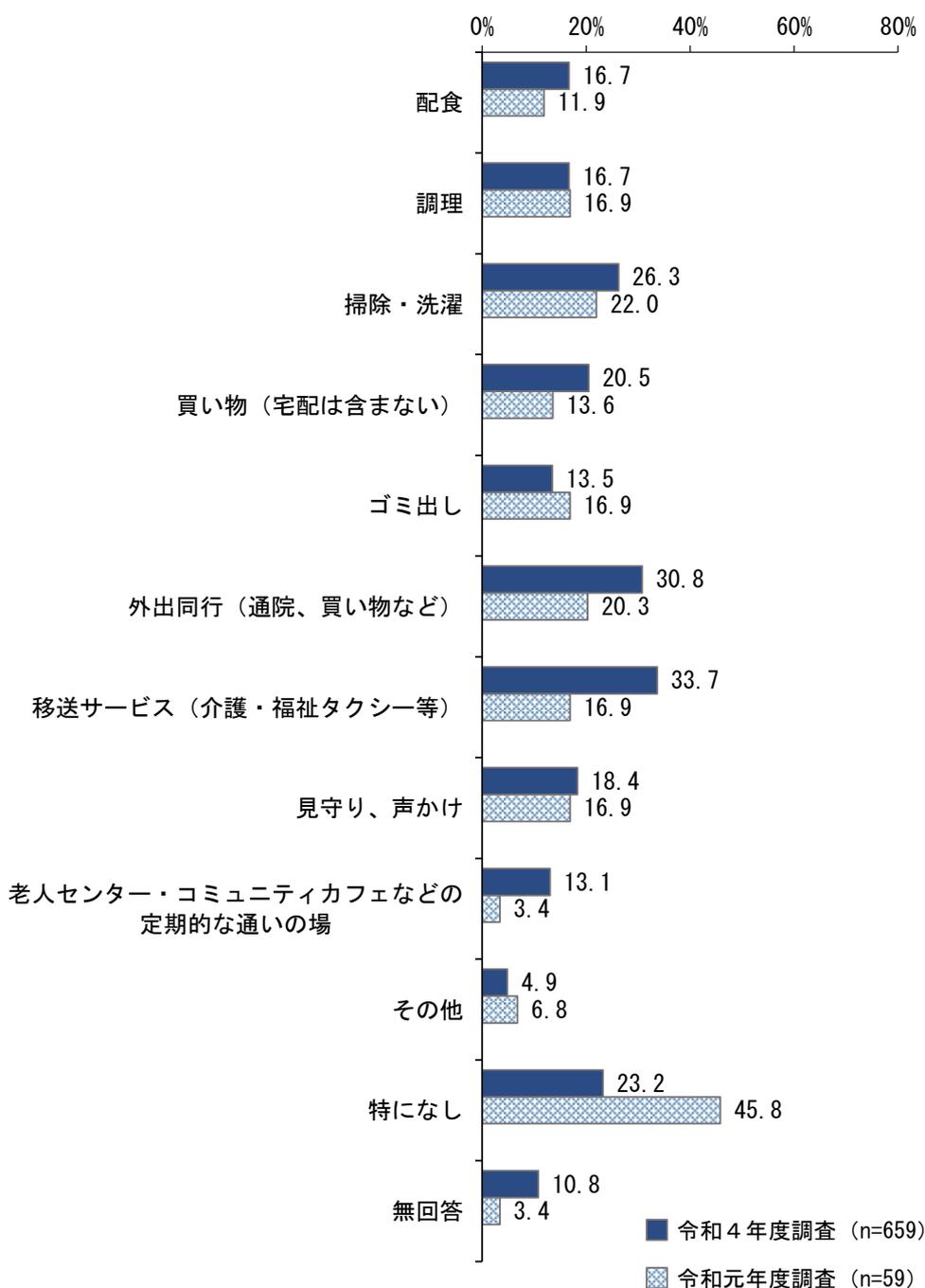
### (9) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問9	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援、サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください	〇はいくつでも
----	---	---------

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.7%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が30.8%、「掃除・洗濯」が26.3%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「移送サービス（介護・福祉タクシー当）」が16.8ポイント増加しています。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



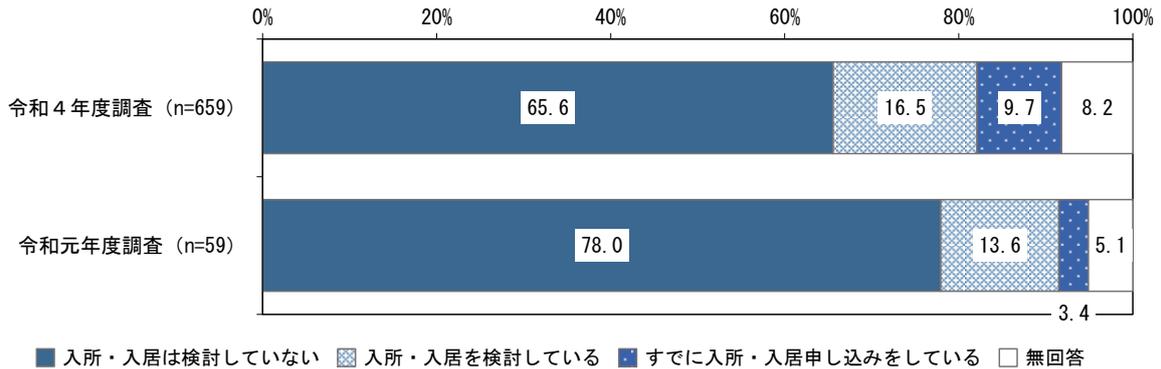
## (10) 施設等への入所・入居の検討状況

問10	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、 ご回答ください	〇はひとつ
-----	---------------------------------------	-------

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が65.6%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が16.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が9.7%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」が12.4ポイント減少しています。

施設等への入所・入居の検討状況



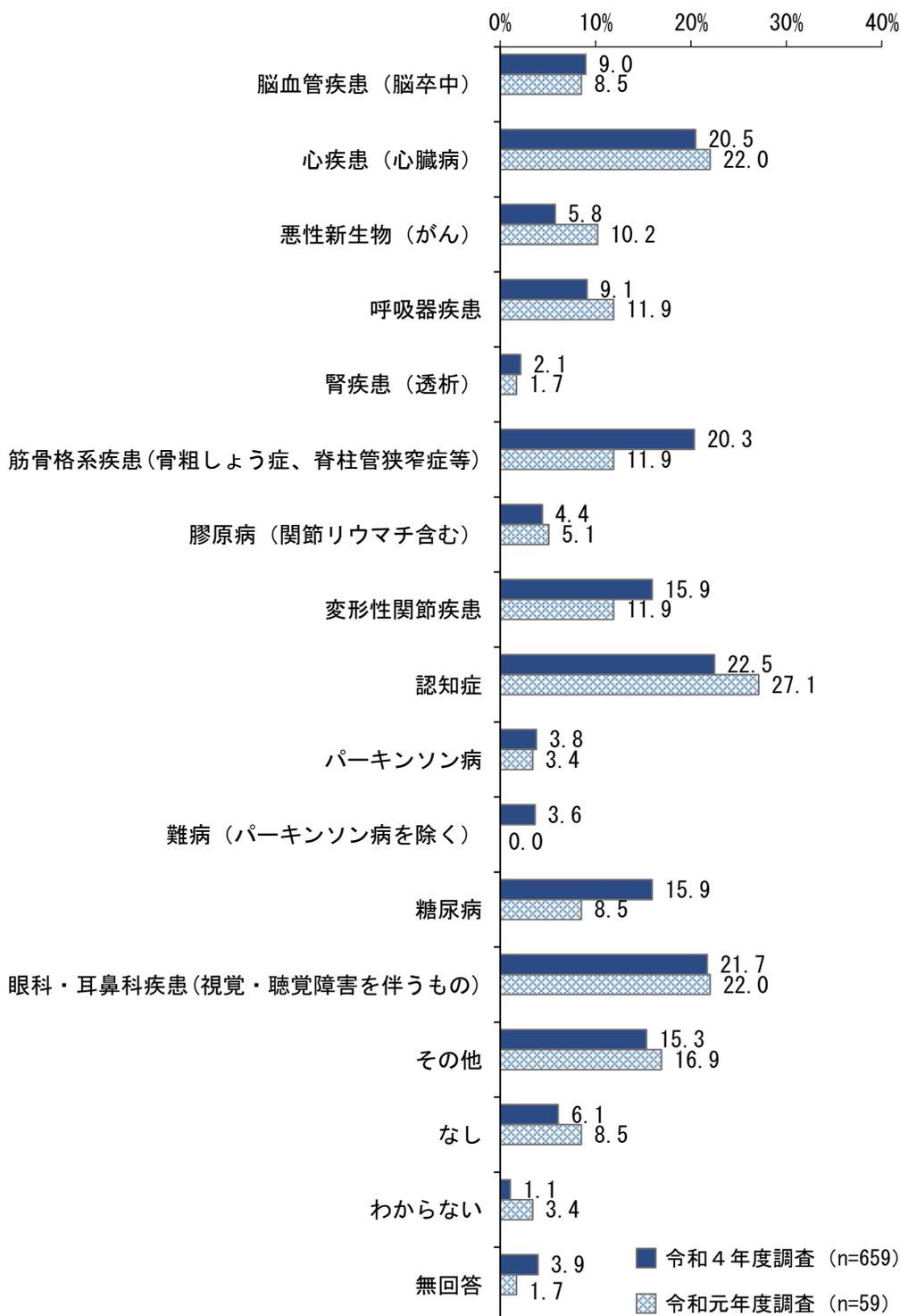
## (11) 現在抱えている傷病

問11	ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、 ご回答ください	〇はいくつでも
-----	---	---------

現在抱えている傷病については、「認知症」が22.5%で最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」が21.7%、「心疾患（心臓病）」が20.5%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が8.4ポイント増加しています。

現在抱えている傷病

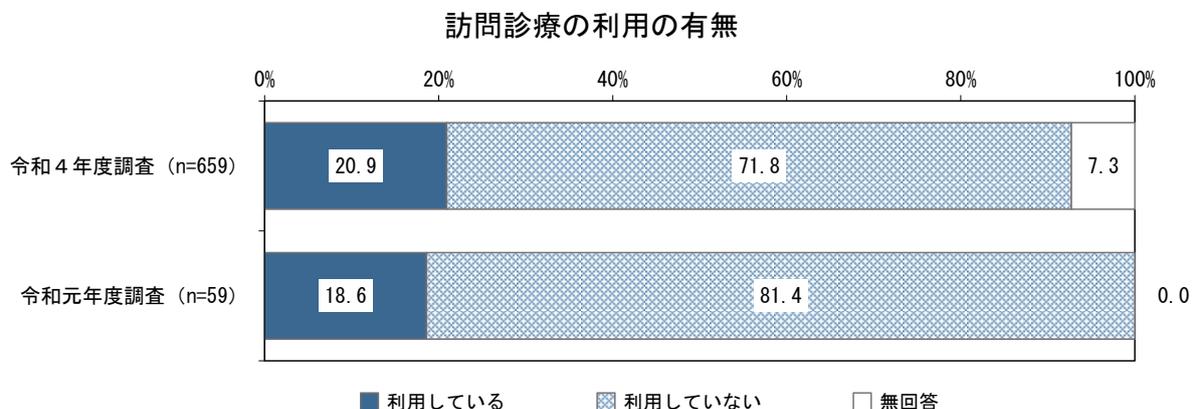


## (12) 訪問診療の利用の有無

問12	ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか	○はひとつ
-----	--------------------------------	-------

訪問診療の利用の有無については、「利用している」が20.9%、「利用していない」が71.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「利用している」が2.3ポイント増加しています。



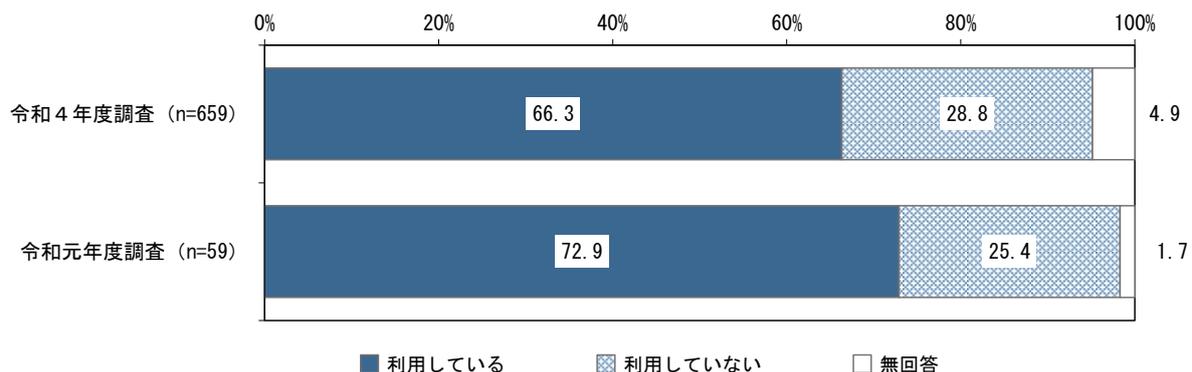
## (13) 介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く）の利用の有無

問13	ご本人(認定調査対象者)は、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか	○はひとつ
-----	---	-------

介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与、購入を除く）の利用の有無については、「利用している」が66.3%、「利用していない」が28.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「利用している」が6.6ポイント減少しています。

**介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く）の利用の有無**



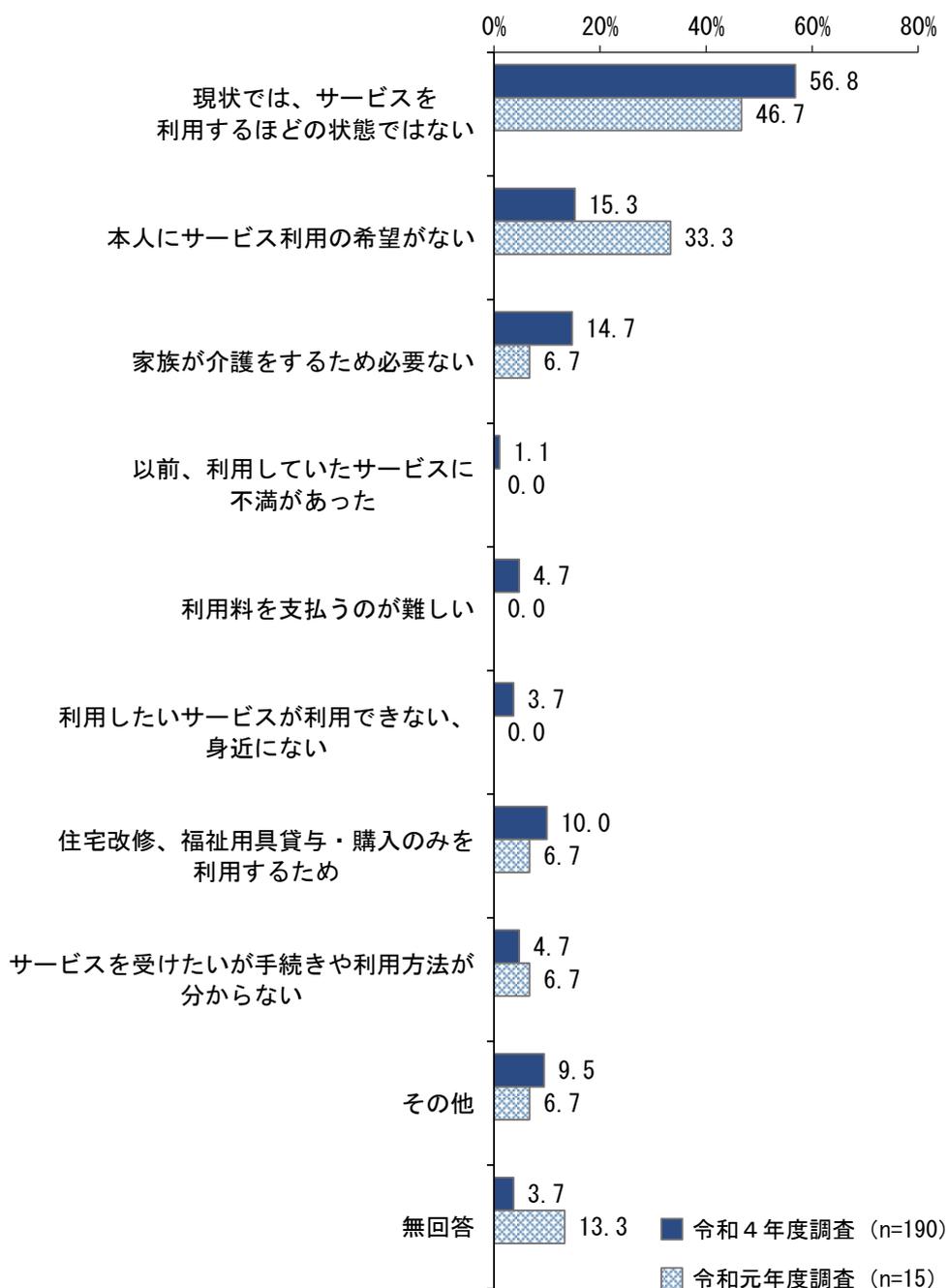
## (14) 介護保険サービスを利用しない理由

問14	介護保険サービスを利用していない理由は何ですか	〇はいくつでも
-----	-------------------------	---------

介護保険サービスを利用しない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が56.8%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が15.3%、「家族が介護をするため必要ない」が14.7%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が10.1ポイント増加しています。

介護保険サービスを利用しない理由



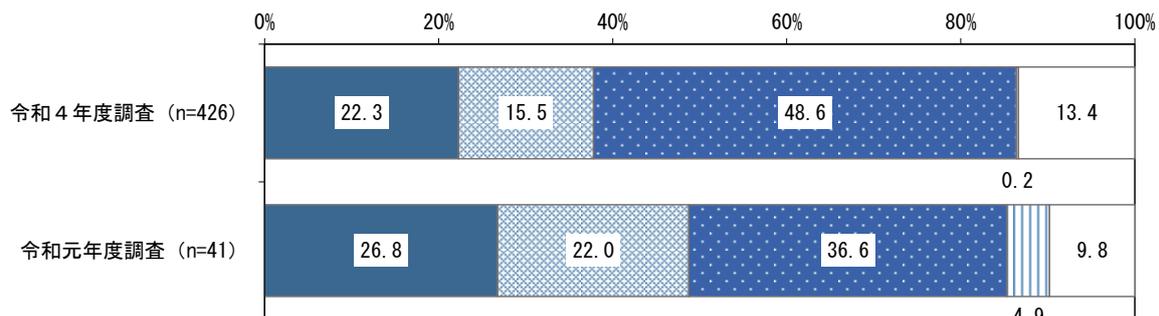
### 3. 主な介護者、もしくは本人用の調査項目

#### (1) 主な介護者の現在の勤務形態

問 1	主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください	○はひとつ
-----	-----------------------------	-------

主な介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」が48.6%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が22.3%、「パートタイムで働いている」が15.5%と続いています。令和元年度調査と比較すると、「働いていない」が12.0ポイント増加しています。

主な介護者の現在の勤務形態



■ フルタイムで働いている   ■ パートタイムで働いている   ■ 働いていない   ■ 主な介護者に確認しないと、わからない   □ 無回答

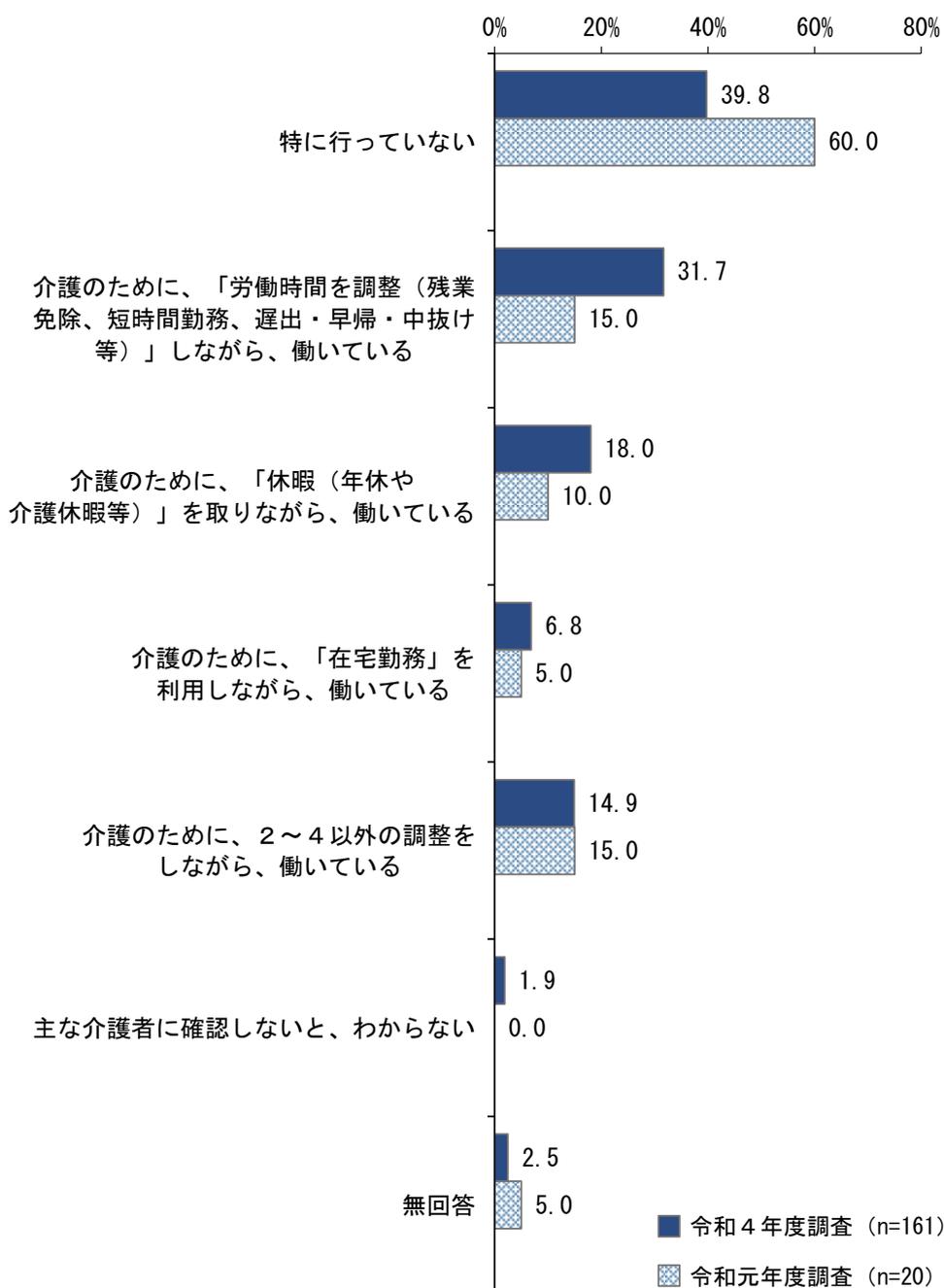
## (2) 介護をするにあたっての働き方の調整

問2	主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか	○はいくつでも
----	--	---------

介護をするにあたっての働き方の調整については、「特に行っていない」が39.8%で最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が31.7%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が18.0%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が16.7ポイント増加しています。

介護をするにあたっての働き方の調整



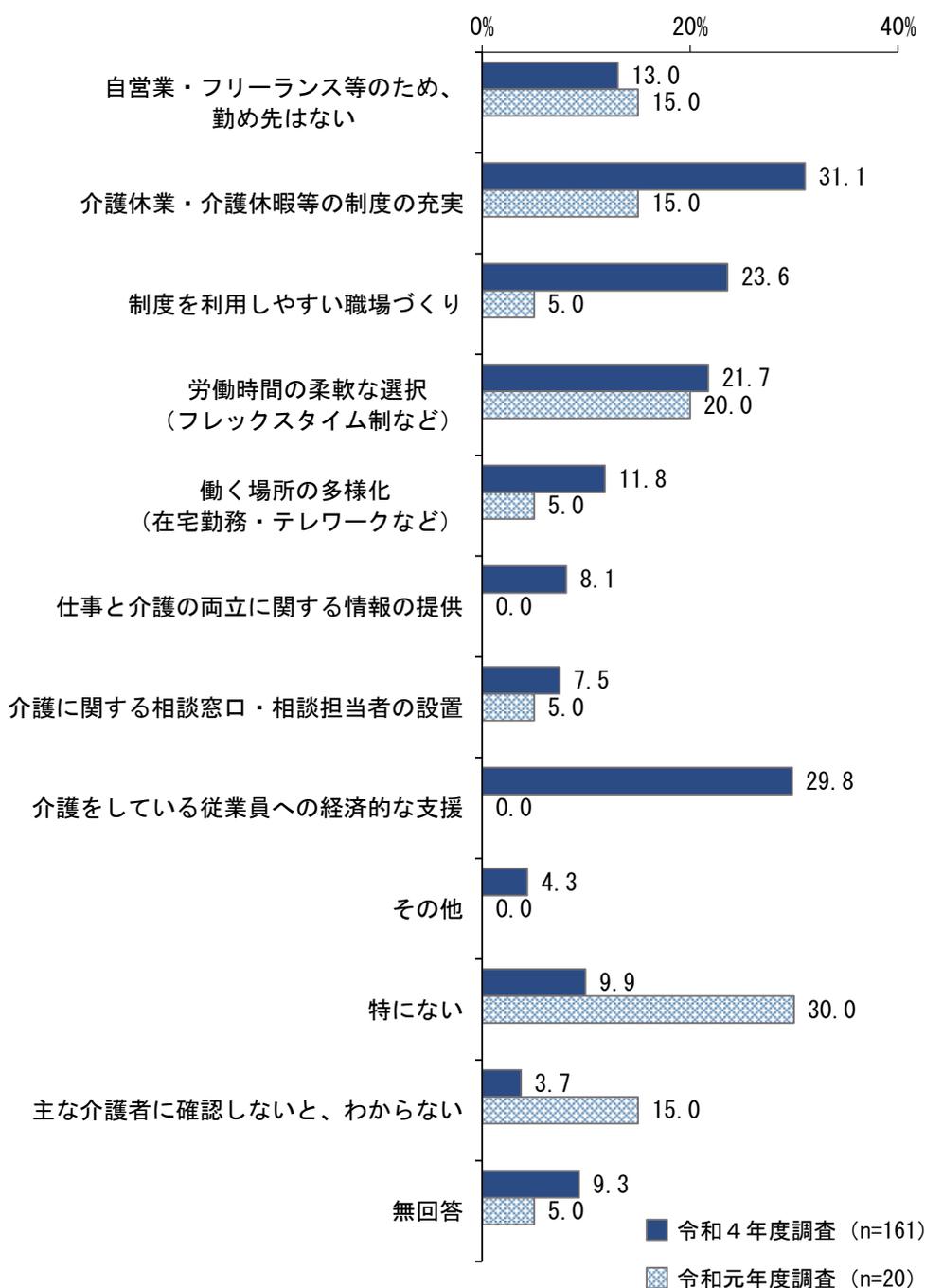
### (3) 仕事と介護の両立に効果的だと思われる勤め先からの支援

問3	主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか	○は3つまで
----	--	--------

仕事と介護の両立に効果的だと思われる勤め先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が31.1%で最も高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が29.8%、「制度を利用しやすい職場づくり」が23.6%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「介護をしている従業員への経済的な支援」が29.8ポイント増加しています。

仕事と介護の両立に効果的だと思われる勤め先からの支援

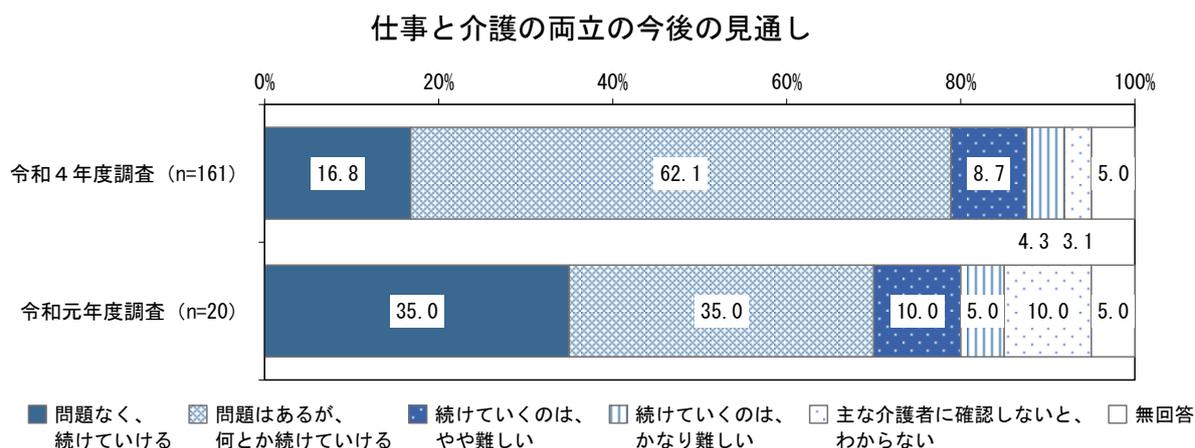


#### (4) 仕事と介護の両立の今後の見通し

問4	主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか	○はひとつ
----	--------------------------------	-------

仕事と介護の両立の今後の見通しについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が62.1%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が16.8%、「続けていくのは、やや難しい」が8.7%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「問題はあるが、何とか続けていける」が27.1ポイント増加しています。



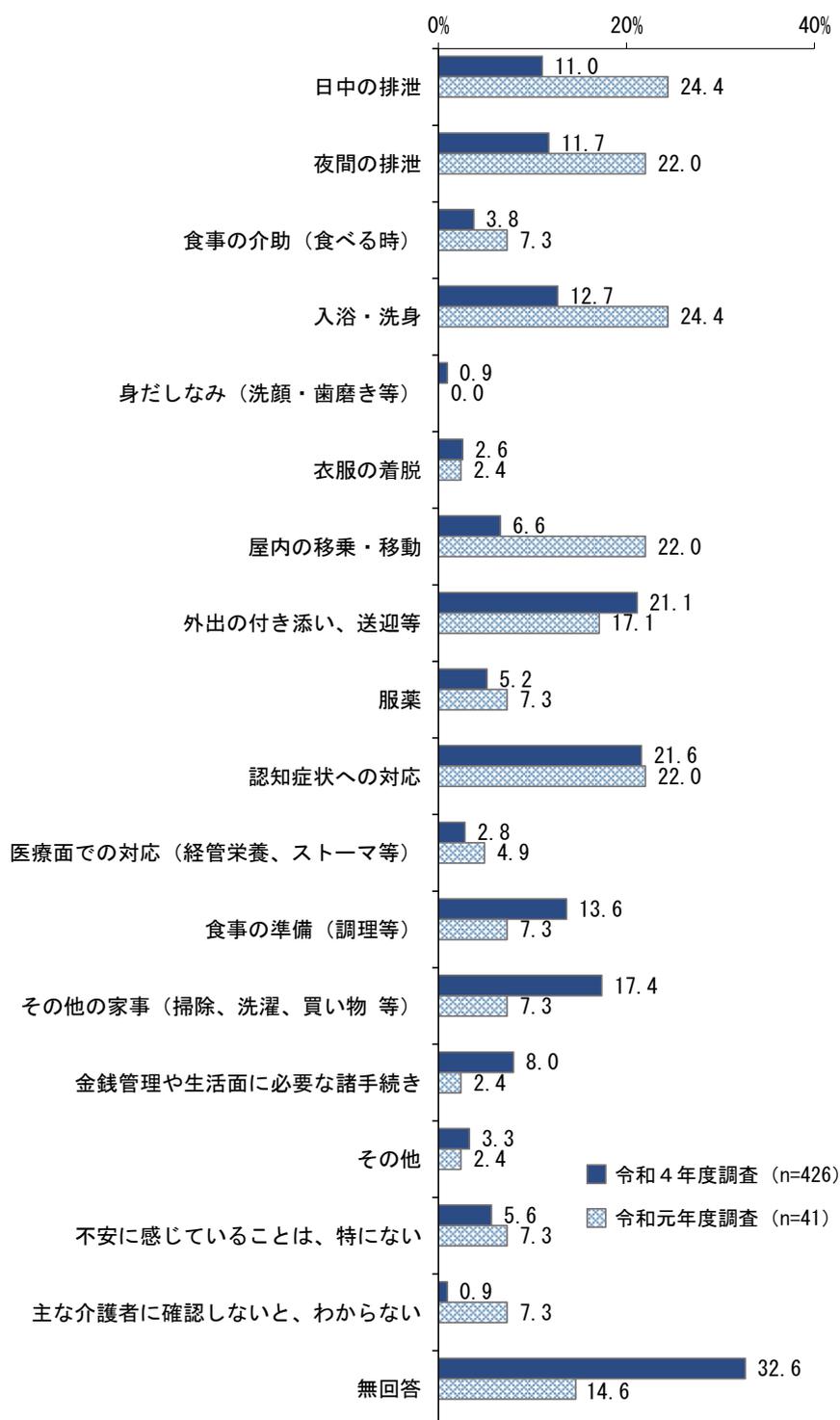
## (5) 生活を継続していくにあたり介護者が不安に感じる介護等について

問5	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）	○は3つまで
----	--	--------

生活を継続していくにあたり介護者が不安に感じる介護等については、「認知症状への対応」が21.6%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が21.1%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が17.4%と続いています。

令和元年度調査と比較すると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が10.1ポイント増加しています。

生活を継続していくにあたり介護者が不安に感じる介護等

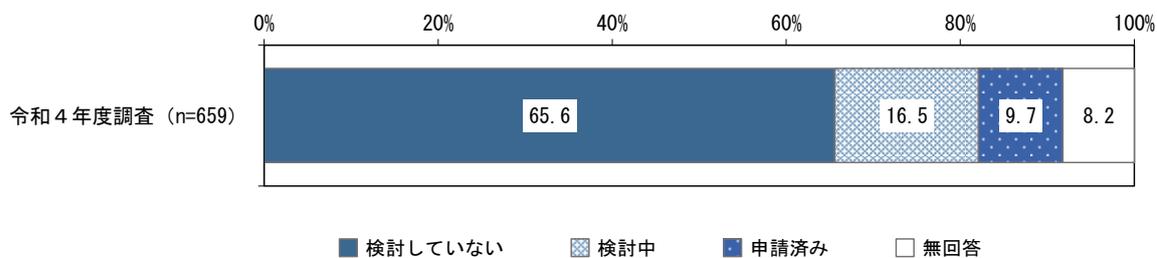


## 4. 在宅限界点の向上に向けた支援・サービスの検討

### (1) 施設等への入所・入居の検討状況

施設等への入所・入居の検討状況については、「検討していない」が65.6%で最も高く、次いで「検討中」が16.5%、「申請済み」が9.7%と続いています。

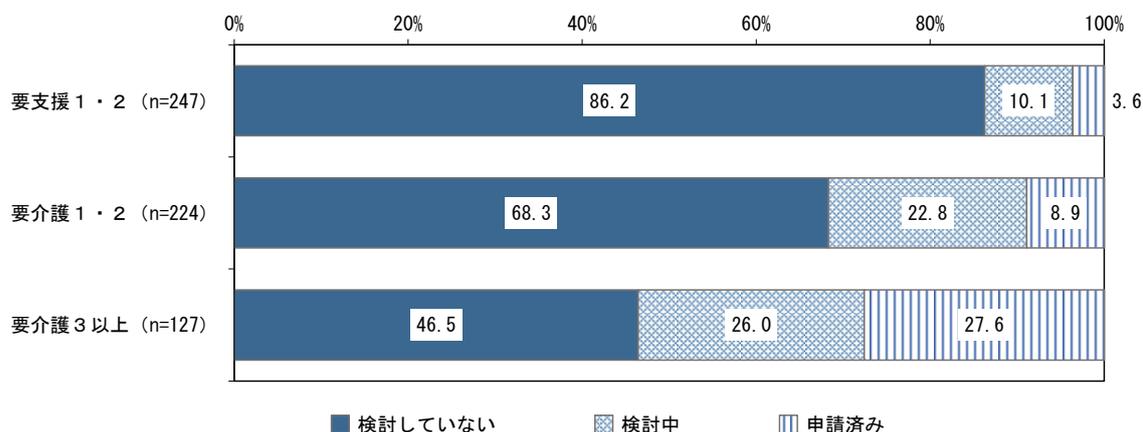
施設等検討の状況



施設等の検討の状況について、要介護度別にみると、要介護度が上がるにつれて「検討していない」の割合が低くなっており、要介護3以上では46.5%となっています。

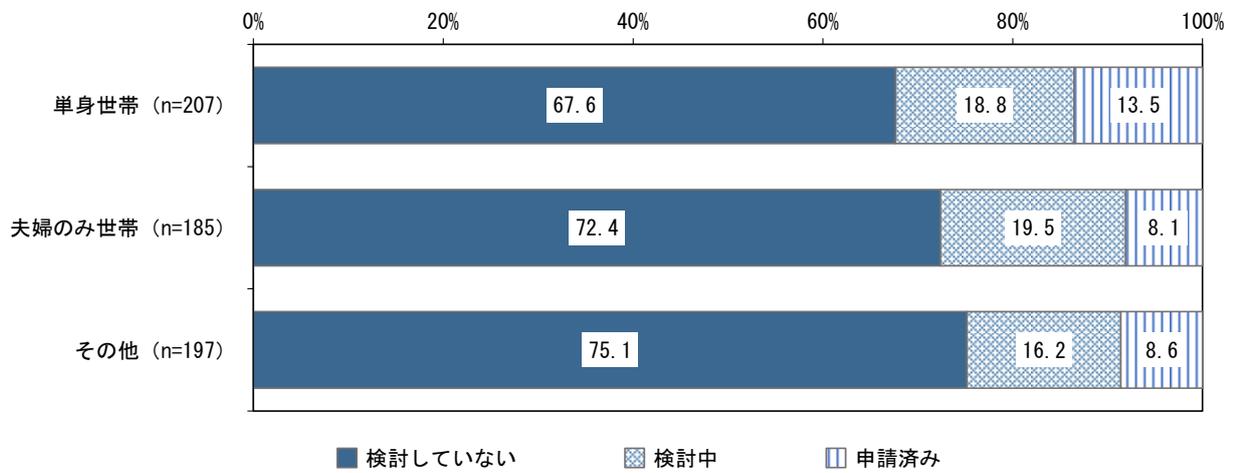
また、要介護度が上がるにつれて「検討中」の割合が高くなっており、要介護3以上では26.0%となっています。

施設等検討の状況 要介護度別



施設等の検討の状況について、世帯類型別にみると、「検討していない」では、そのほか75.1%で最も高く、「検討中」では夫婦のみ世帯が19.5%で最も高くなっています。

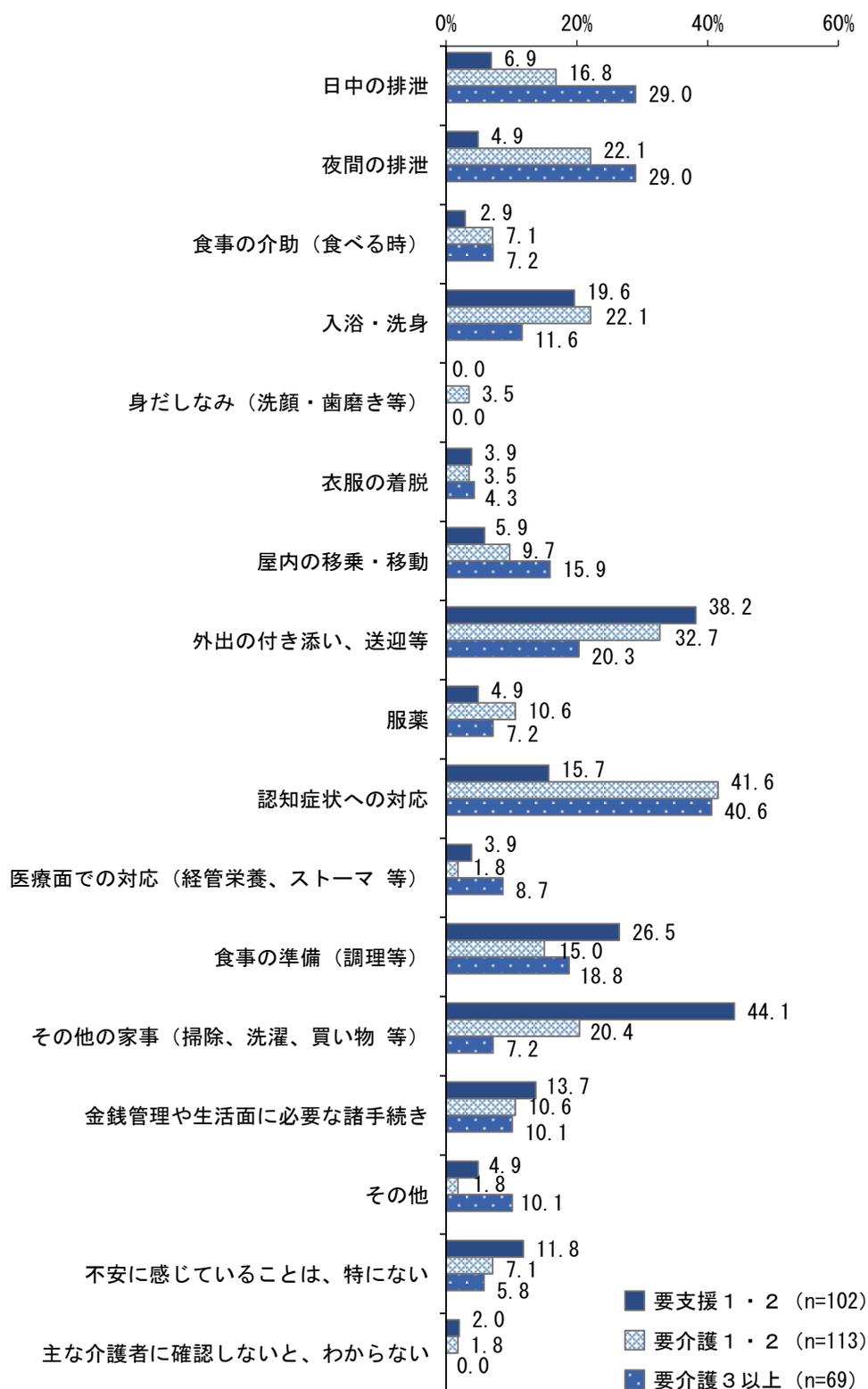
施設等検討の状況 世帯類型別



## (2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う主な介護者が不安に感じる介護

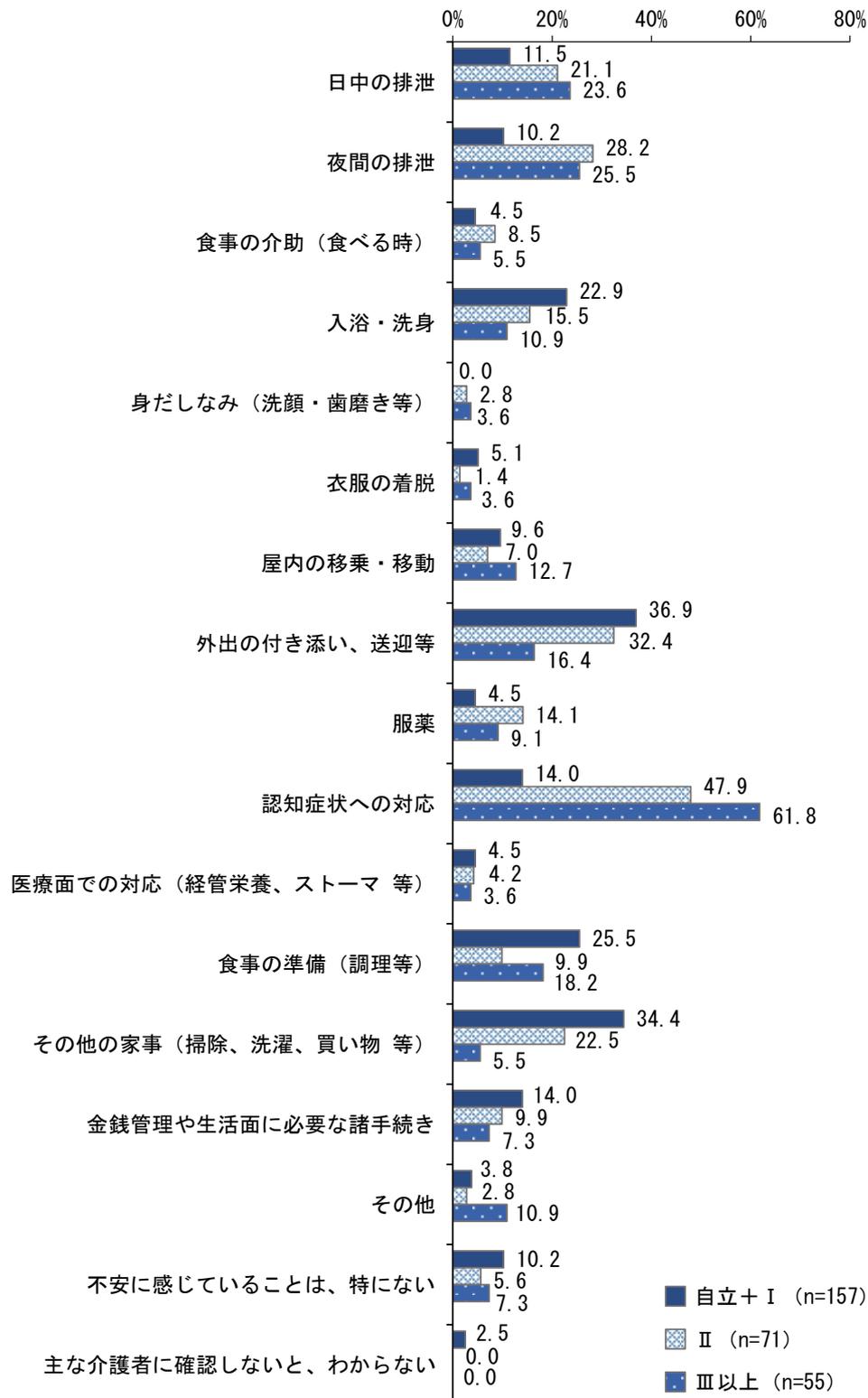
現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護について、要介護度別にみると、要支援1・2では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が44.1%で最も高くなっています。要介護1・2では「認知症状への対応」が41.6%で最も高くなっています。要介護3以上では「認知症状への対応」が40.6%で最も高くなっています。

介護者が不安に感じる介護 要介護度別



現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護について、認知症自立度別にみると、自立+Ⅰでは「外出の付き添い、送迎等」が36.9%で最も高くなっています。認知症自立度Ⅱでは、「認知症状への対応」が47.9%で最も高くなっています。認知症自立度Ⅲ以上では、「認知症状への対応」が61.8%で最も高くなっています。

介護者が不安に感じる介護 認知症自立度別



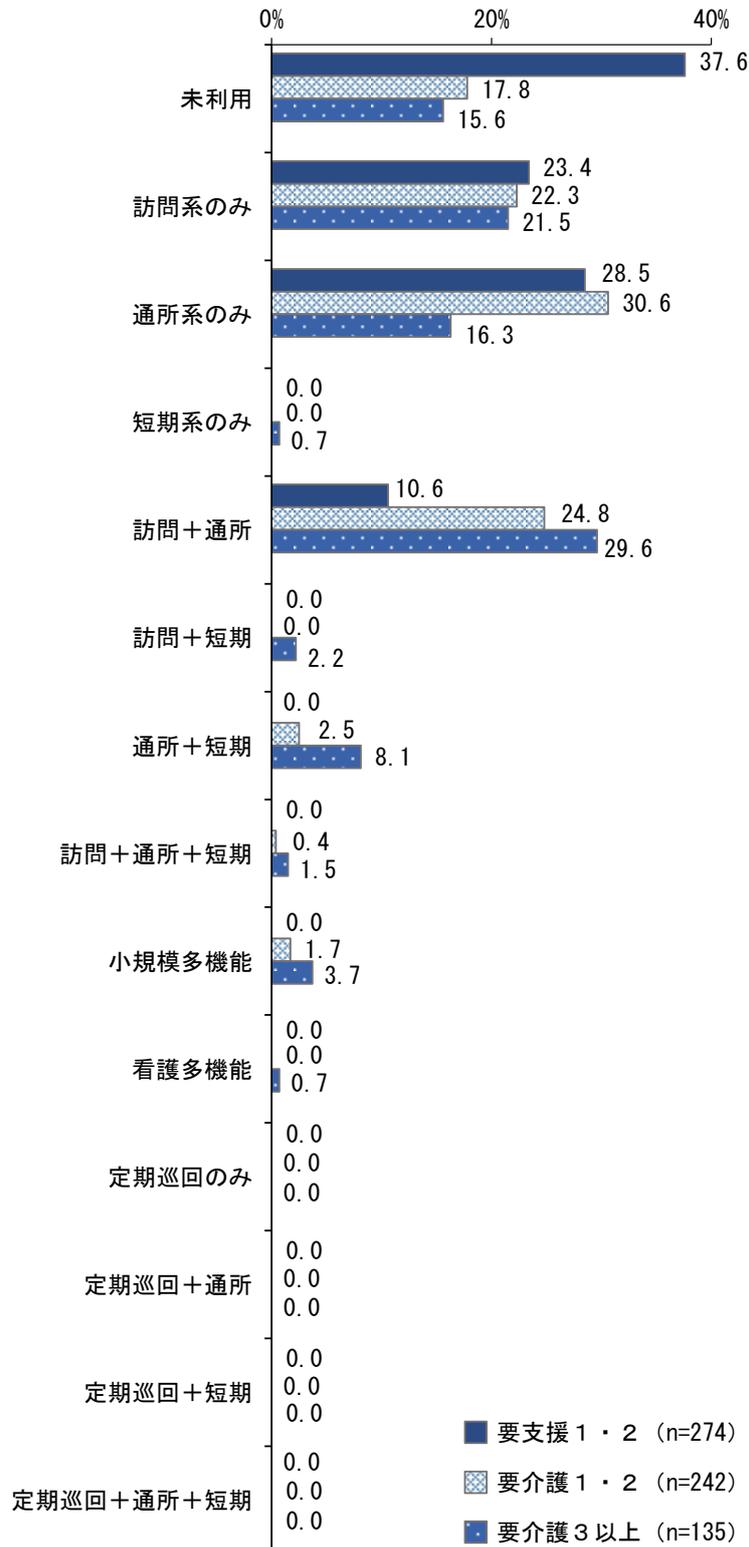
### (3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

サービス利用の組み合わせについて、要介護度別にみると、要支援1・2では「未利用」が37.6%で最も高くなっています。

要介護1・2では「通所系のみ」が30.6%で最も高くなっています。

要介護3以上では「訪問+通所」が29.6%で最も高くなっています。

サービス利用の組み合わせ 要介護度別①

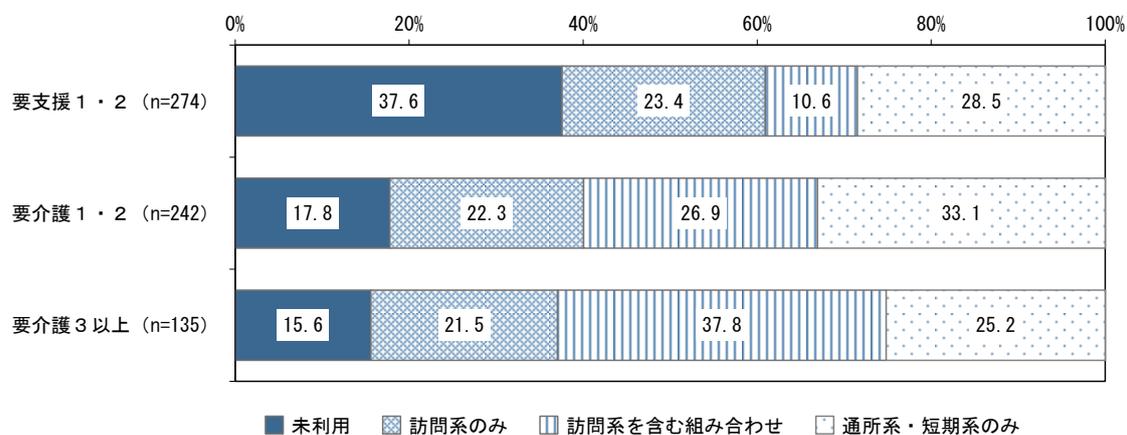


サービス利用の組み合わせ（訪問系のみ、訪問系を含む組み合わせ、通所系・短期系のみ）について、要介護度別にみると、要支援1・2では「未利用」が37.6%で最も高くなっています。

要介護1・2では「通所系・短期系のみ」が33.1%で最も高くなっています。

要介護3以上では「訪問系を含む組み合わせ」が37.8%で最も高くなっています。

サービス利用の組み合わせ 要介護度別②

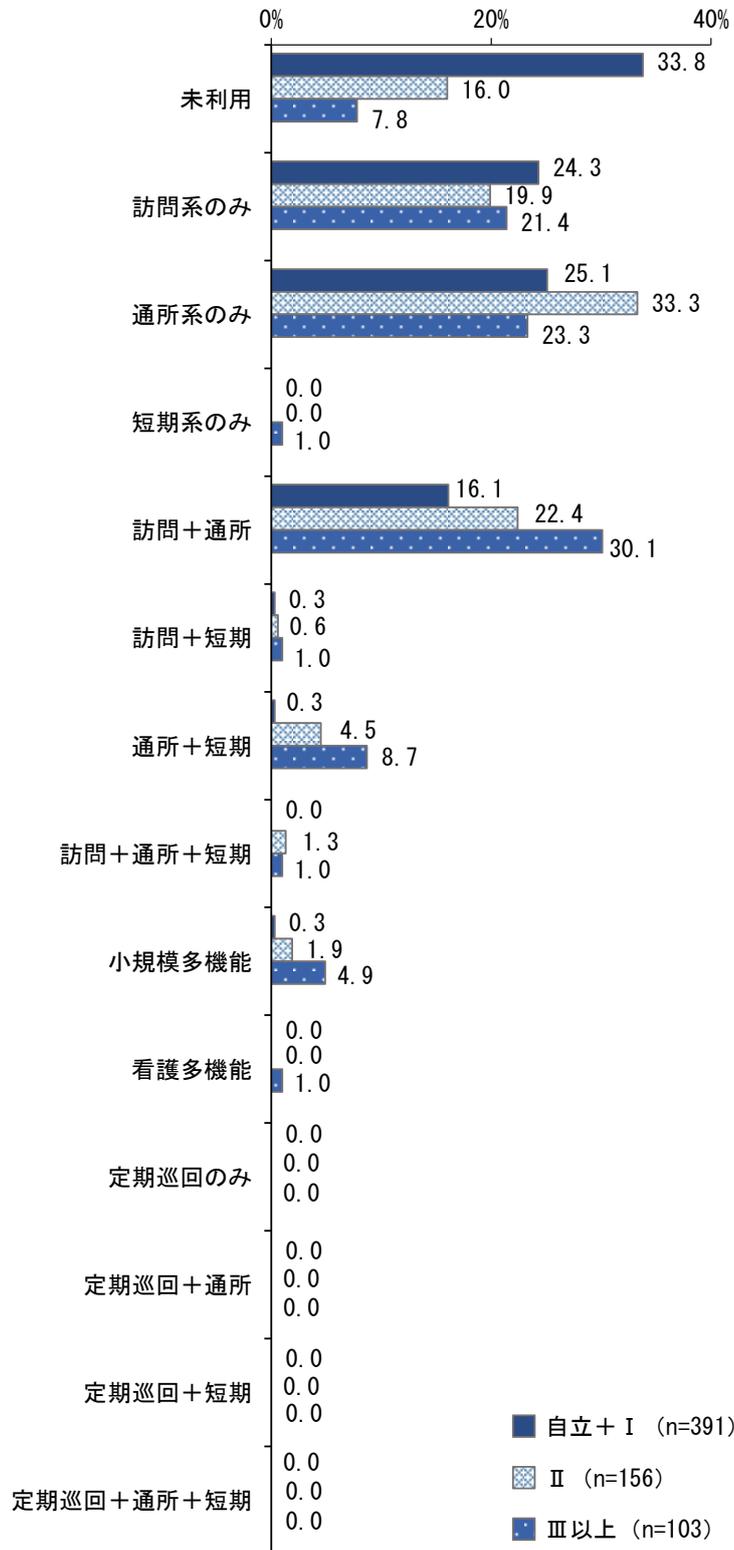


サービス利用の組み合わせについて、認知症自立度別にみると、自立+ I では「未利用」が33.8%で最も高くなっています。

認知症自立度 II では、「通所系のみ」が33.3%で最も高くなっています。

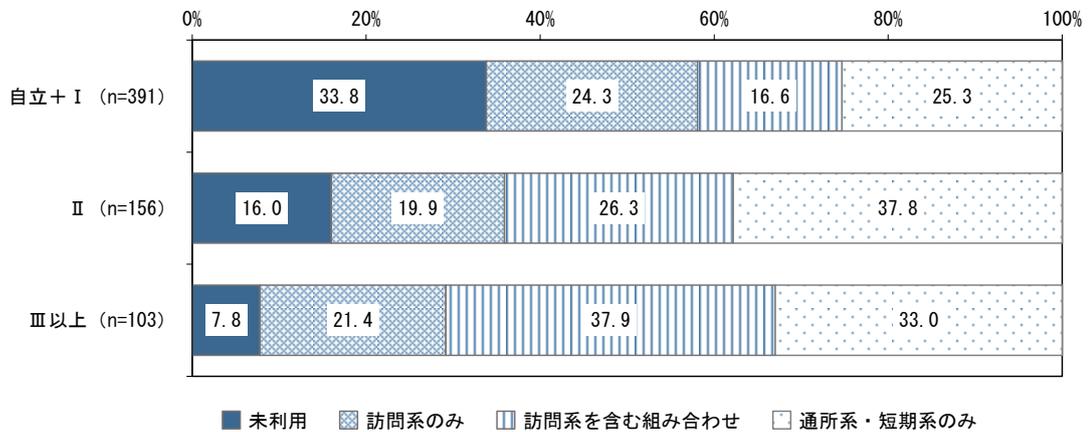
認知症自立度 III 以上では、「訪問+通所」が30.1%で最も高くなっています。

サービス利用の組み合わせ 認知症自立度別①



認知症自立度別に、サービス利用の組み合わせ（訪問系のみ、訪問系を含む組み合わせ、通所系・短期系のみ）についてみると、自立+Ⅰでは「未利用」が33.8%で最も高くなっています。認知症自立度Ⅱでは、「通所系・短期系のみ」が37.8%で最も高くなっています。認知症自立度Ⅲ以上では、「訪問系を含む組み合わせ」が37.9%で最も高くなっています。

サービス利用の組み合わせ 認知症自立度別②



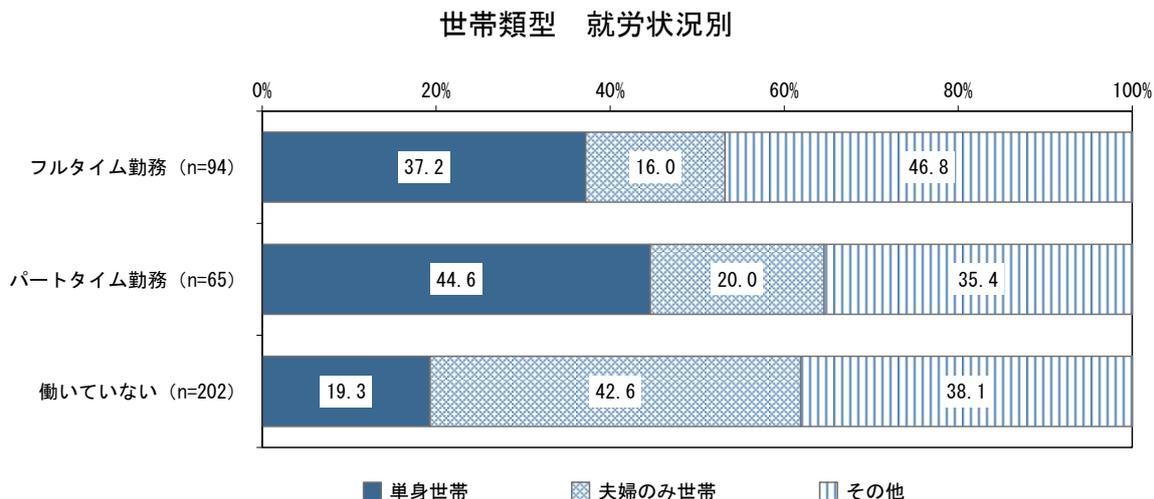
## 5. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

### (1) 就労状況別の基本属性

要介護者の世帯類型について、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「その他」が46.8%で最も高くなっています。

パートタイム勤務では、「単身世帯」が44.6%で最も高くなっています。

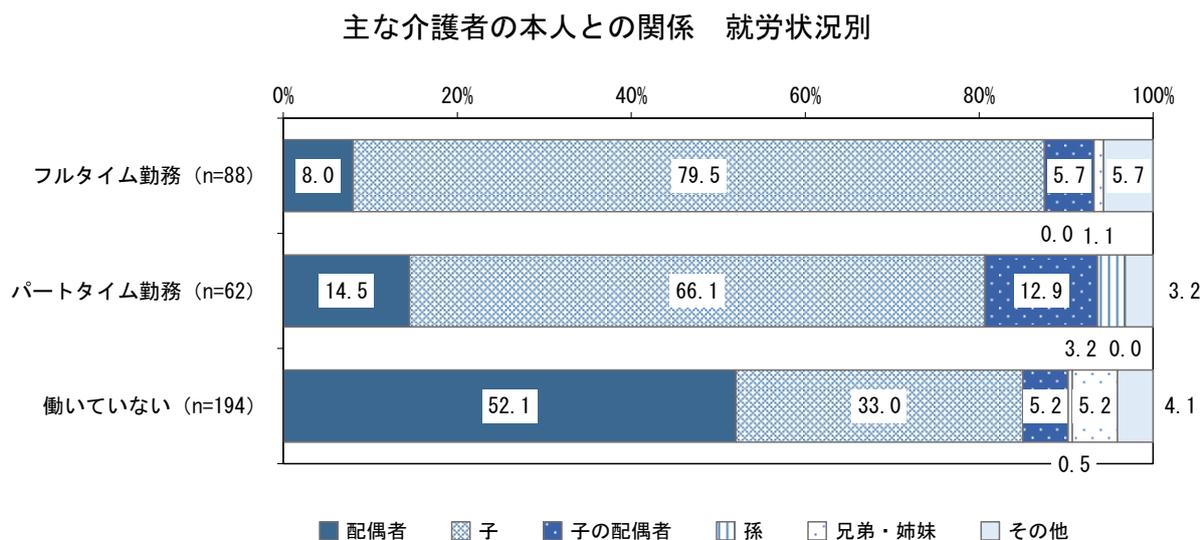
働いていないでは、「夫婦のみ世帯」が42.6%で最も高くなっています。



主な介護者の本人との関係について、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「子」が79.5%で最も高くなっています。

パートタイム勤務では、「子」が66.1%で最も高くなっています。

働いていないでは、「配偶者」が52.1%で最も高くなっています。

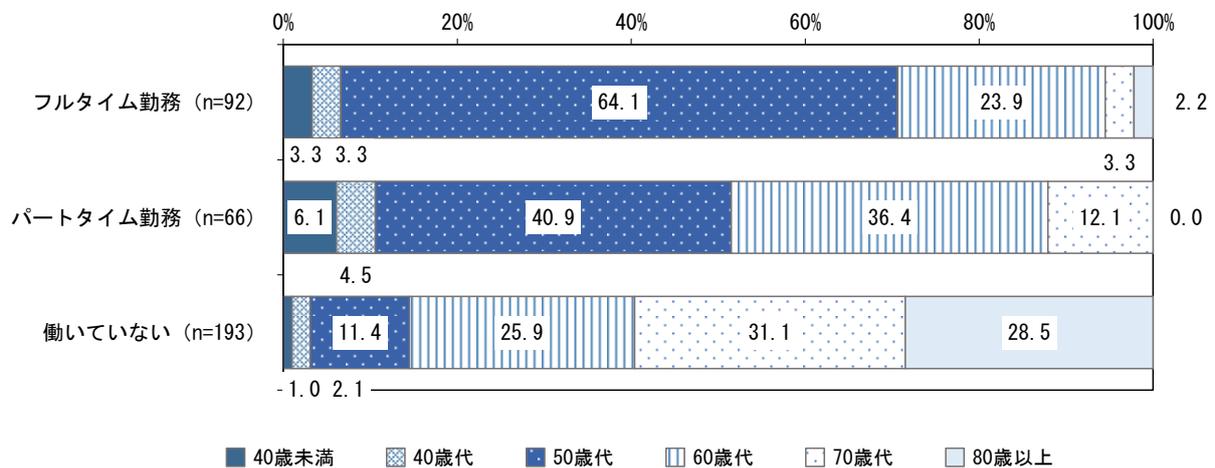


主な介護者の年齢について、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「50歳代」が64.1%で最も高くなっています。

パートタイム勤務では、「50歳代」が40.9%で最も高くなっています。

働いていないでは、「70歳代」が31.1%で最も高くなっています。

主な介護者の年齢 就労状況別

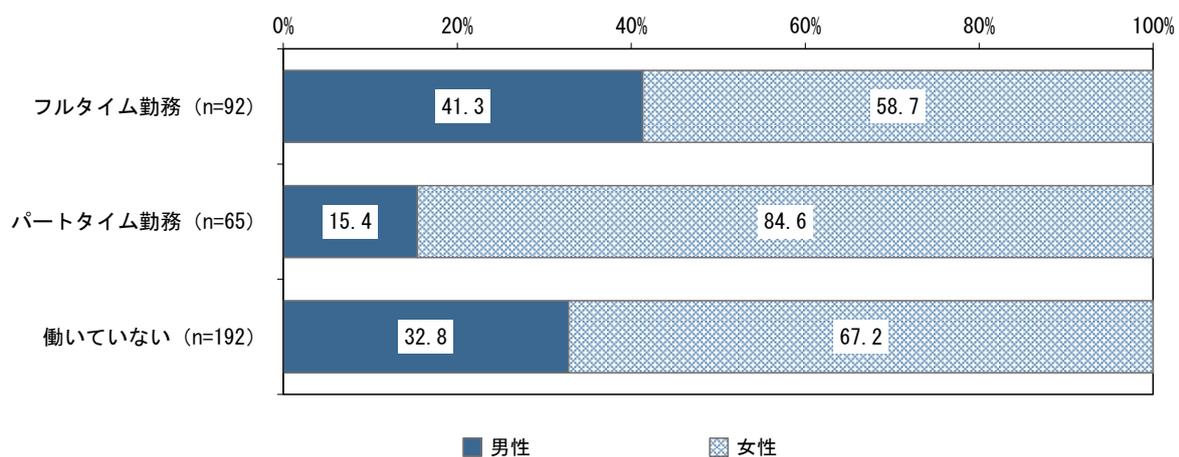


主な介護者の性別について、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「男性」が41.3%、「女性」が58.7%となっています。

パートタイム勤務では、「男性」が15.4%、「女性」が84.6%となっています。

働いていないでは、「男性」が32.8%、「女性」が67.2%となっています。

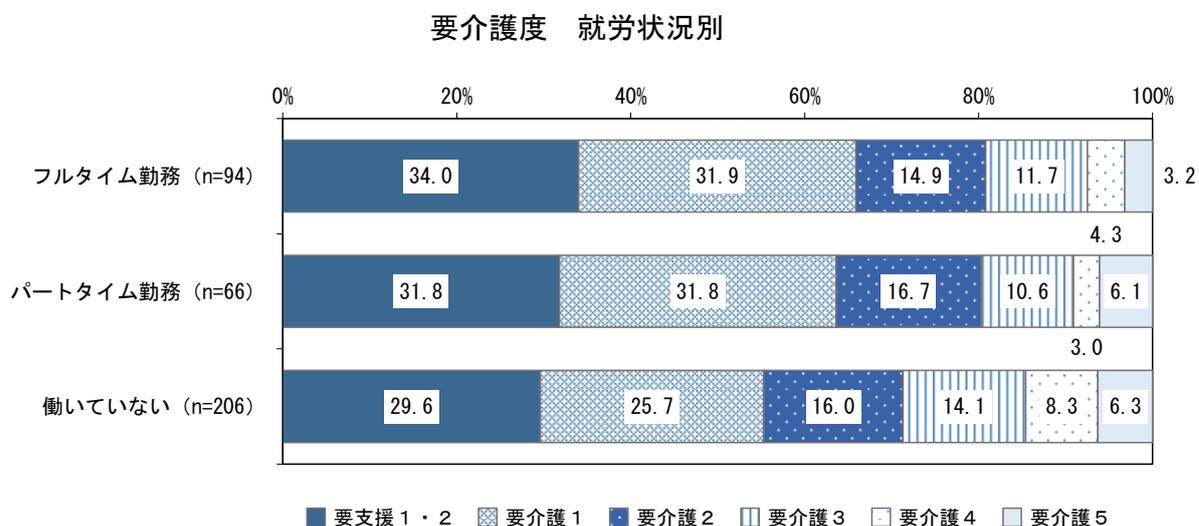
主な介護者の性別 就労状況別



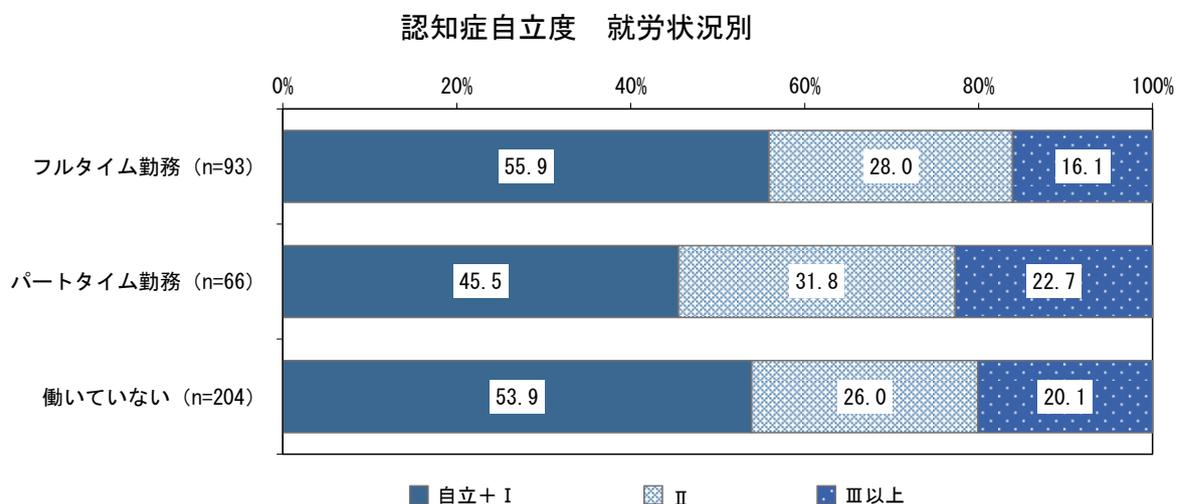
要介護者の要介護度について、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「要支援1・2」が34.0%で最も高くなっています。

パートタイム勤務では、「要支援1・2」と「要介護1」が31.8%で最も高くなっています。

働いていないでは、「要支援1・2」が29.6%で最も高くなっています。

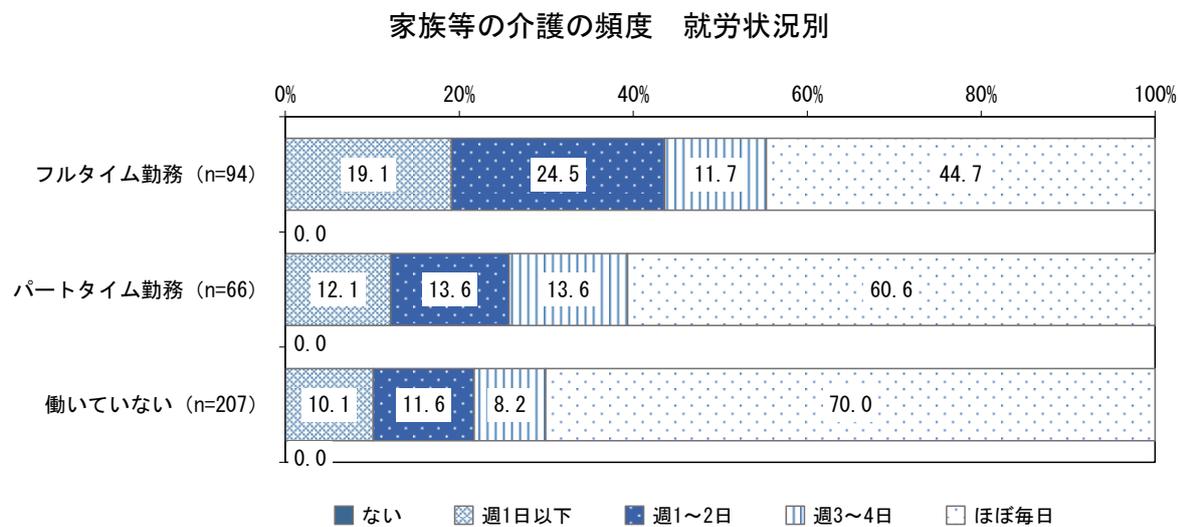


要介護者の認知症自立度について、主な介護者の就労状況別にみると、全ての就労状況で「自立+I」が最も高く、フルタイム勤務では55.9%となっています。



## (2) 就労状況別の主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

家族等の介護の頻度について、主な介護者の就労状況別にみると、全ての就労状況で「ほぼ毎日」が最も高く、働いていないでは70.0%となっています。

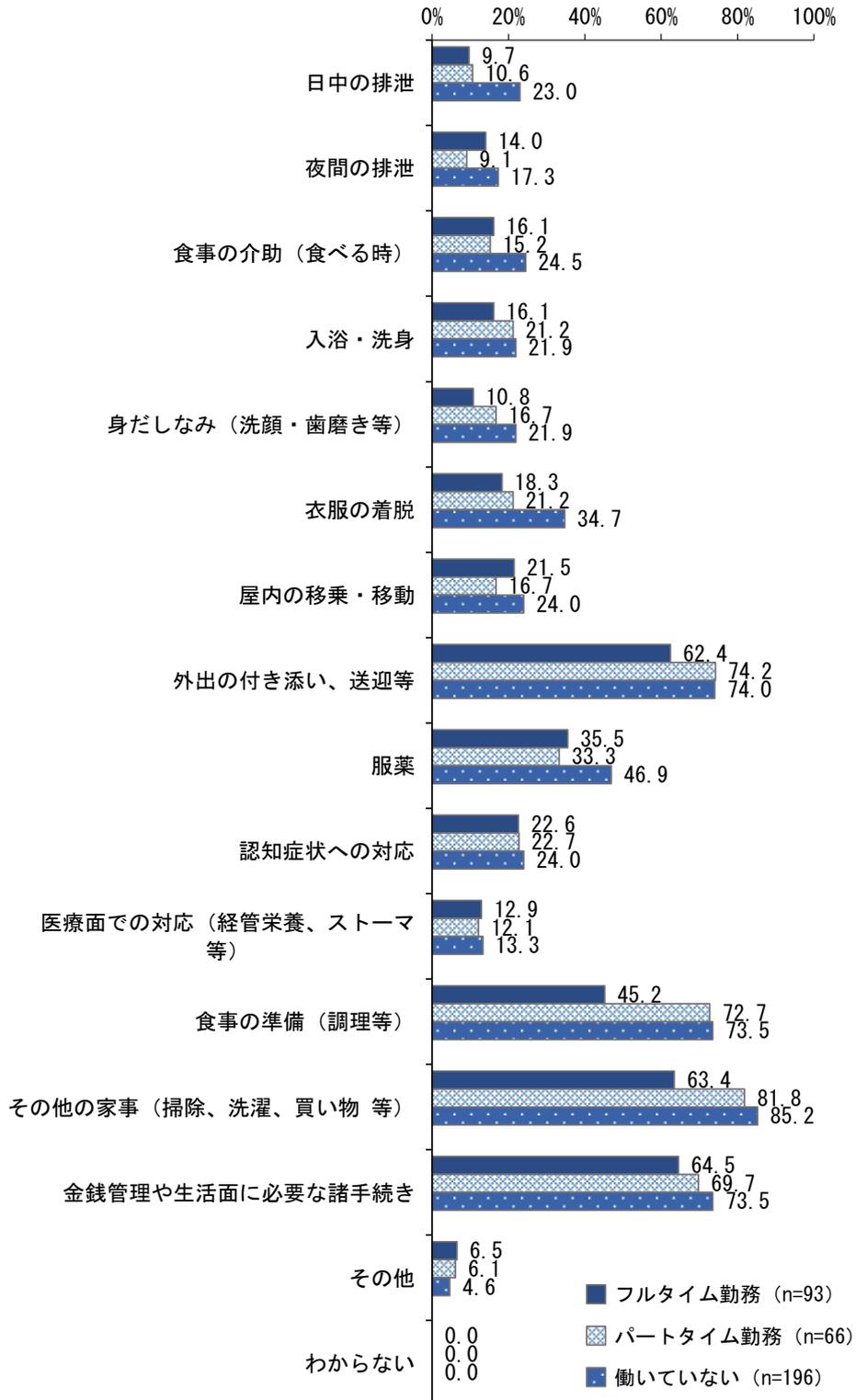


主な介護者が行っている介護について、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が64.5%で最も高くなっています。

パートタイム勤務では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が81.8%で最も高くなっています。

働いていないでは「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が85.2%で最も高くなっています。

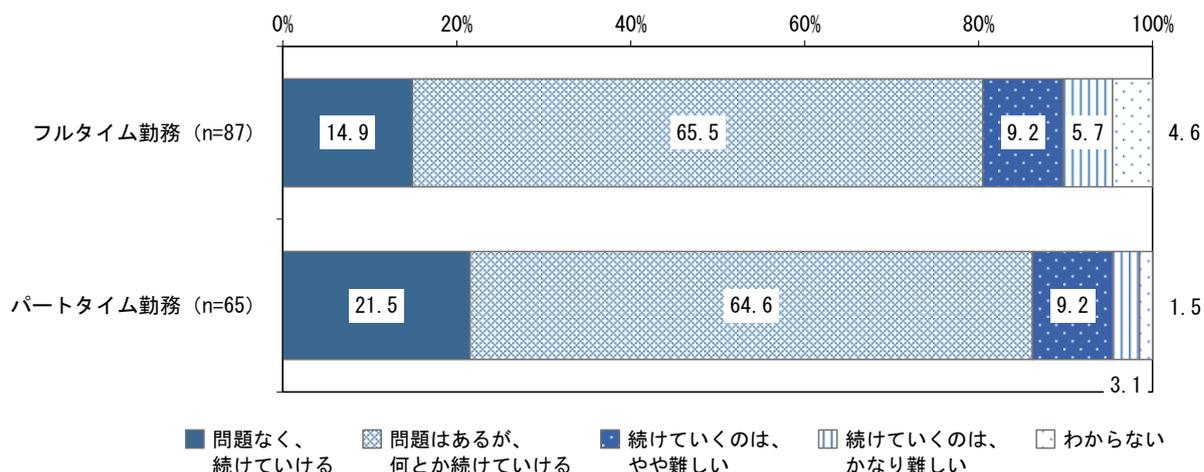
主な介護者が行っている介護 就労状況別



今後の就労継続見込みについて、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務とパートタイム勤務いずれも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、フルタイム勤務では65.5%、パートタイム勤務では64.6%となっています。

また、『続けていくのが困難（「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合計）』では、フルタイム勤務では14.9%、パートタイム勤務では12.3%となっています。

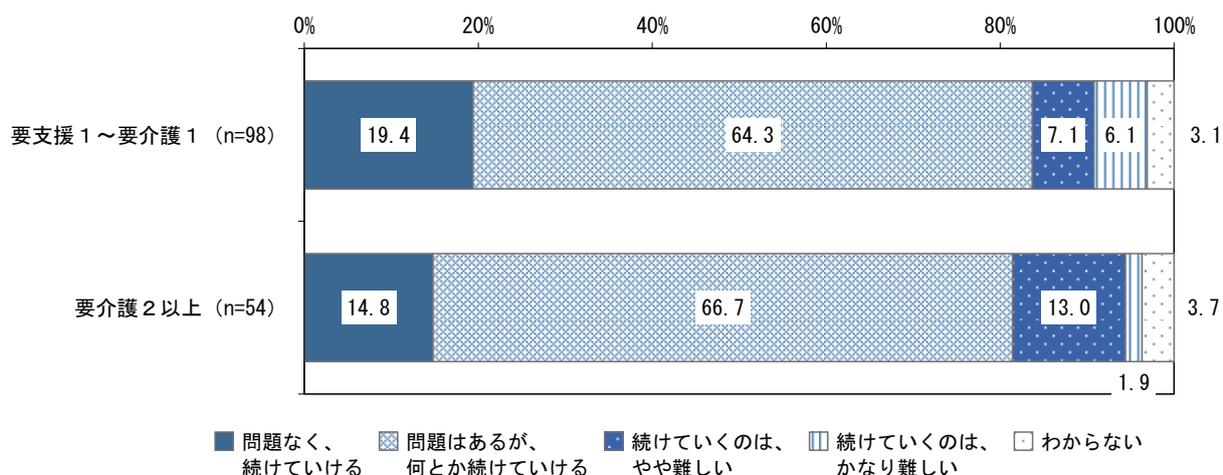
今後の就労継続見込み 就労状況別



今後の就労継続見込みについて、要介護度別にみると、要支援1～要介護1と要介護2以上のいずれも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、要支援1～要介護1では64.3%、要介護2以上では66.7%となっています。

また、『続けていくのが困難（「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合計）』では、要支援1～要介護1では13.2%、要介護2以上では14.9%となっています。

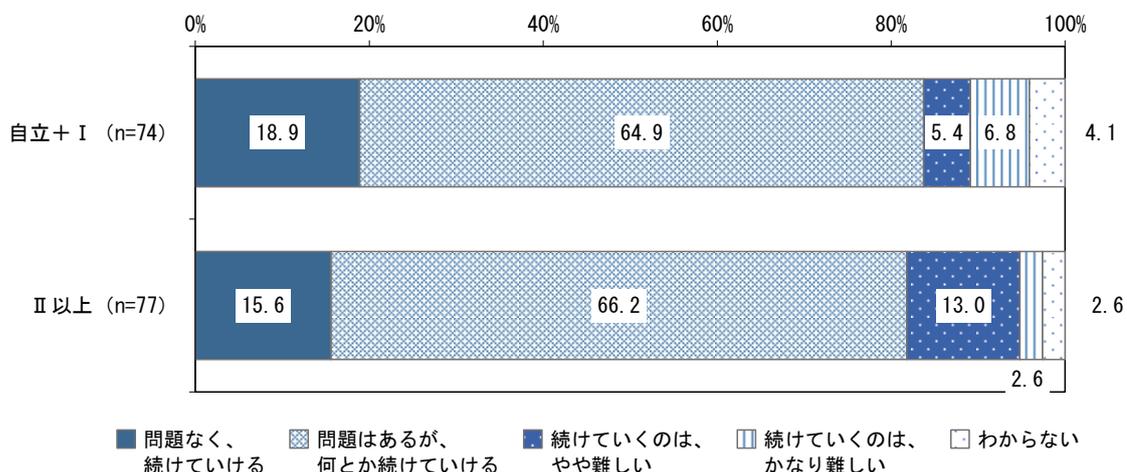
今後の就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務） 要介護度別



今後の就労継続見込みについて、認知症自立度別にみると、自立+ I と認知症自立度Ⅱ以上のいずれも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、自立+ I では64.9%、認知症自立度Ⅱ以上では66.2%となっています。

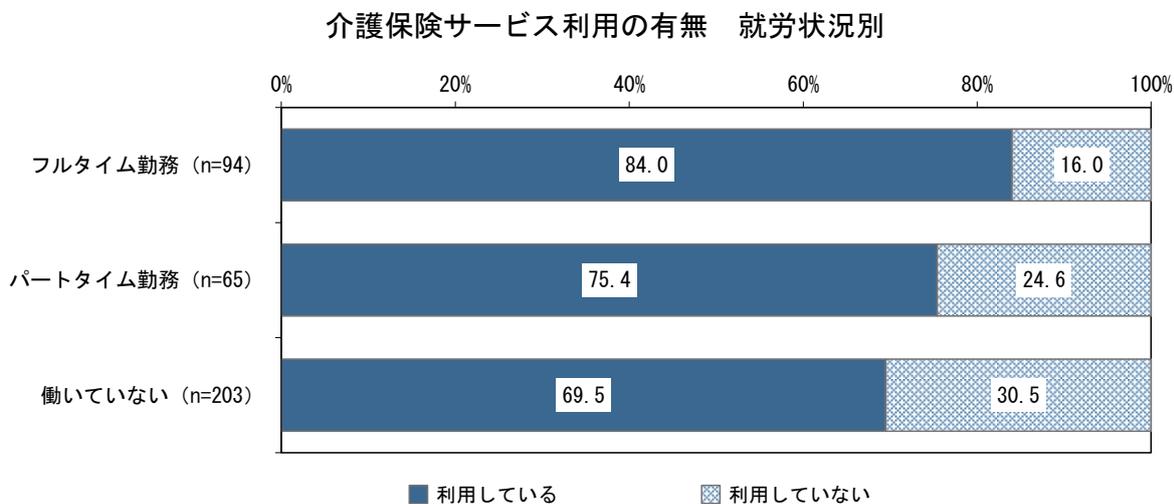
また、『続けていくのが困難（「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合計）』では、自立+ I では12.2%、認知症自立度Ⅱ以上では15.6%となっています。

今後の就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務） 認知症自立度別



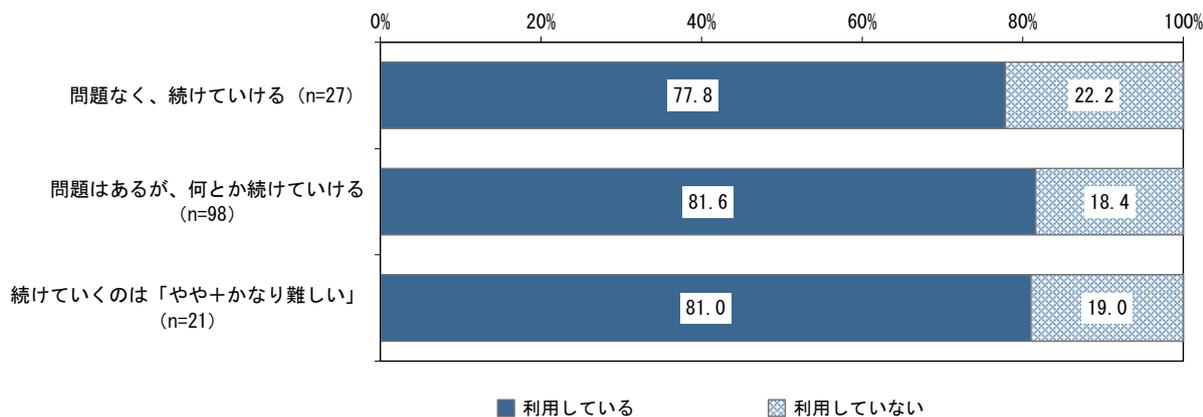
### (3) 介護保険サービスの利用状況

介護保険サービスの利用状況について、主な介護者の就労状況別にみると、「利用している」割合はフルタイム勤務が84.0%、パートタイム勤務が75.4%、働いていないが69.5%となっています。



介護保険サービスの利用状況について、就労継続見込み別にみると、「利用している」割合は問題なく、続けていけるが77.8%、問題はあるが、何とか続けていけるが81.6%、続けていくのは「やや+かなり難しい」が81.0%となっています。

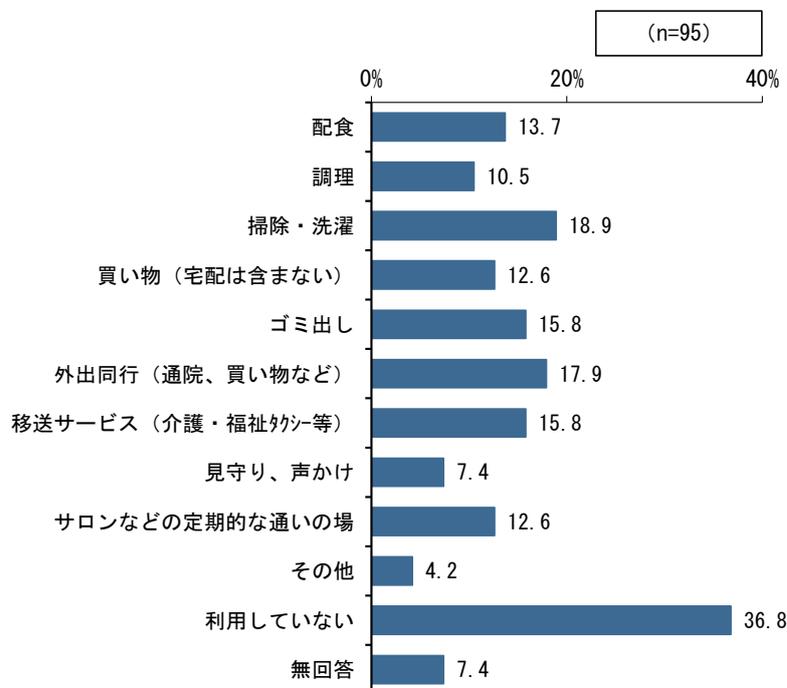
介護保険サービス利用の有無 就労継続見込み別（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



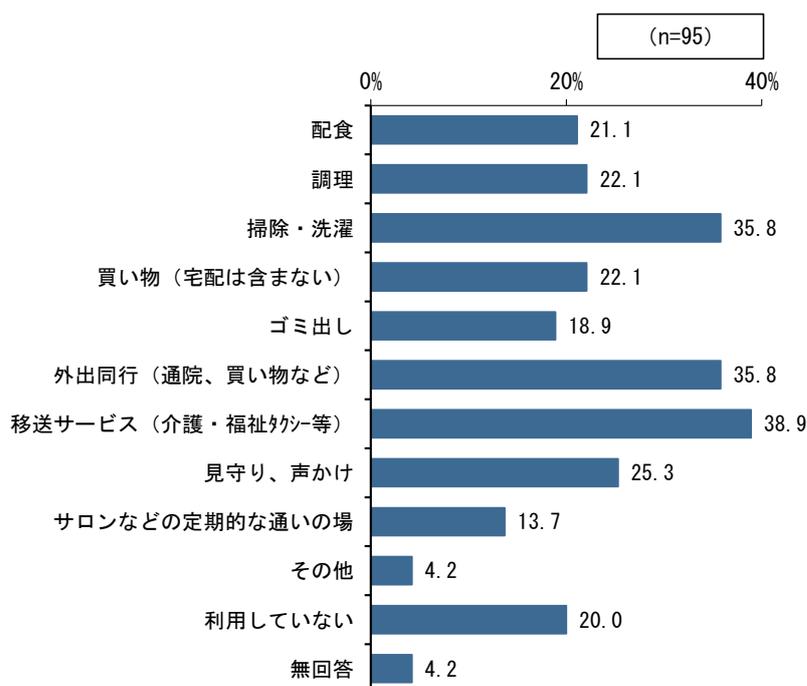
#### (4) 就労状況別の保険外の支援・サービスの利用状況と施設等検討の状況

フルタイム勤務で利用している「保険外の支援・サービス」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」の差をみると、多くの生活支援サービスで、必要と感じているのに、利用している割合が低い状況となっています。

利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）

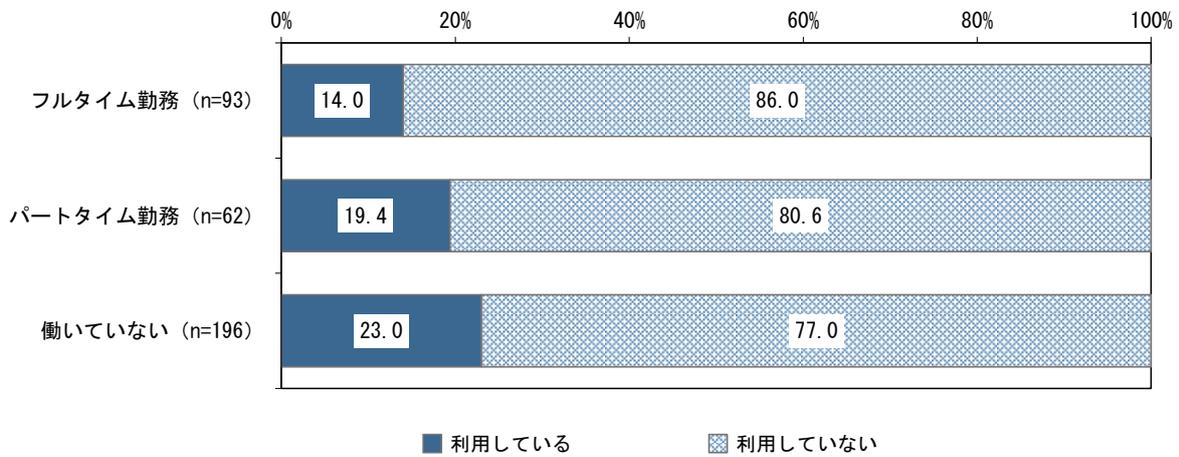


在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）



訪問診療の利用の有無について、主な介護者の就労状況別にみると、「利用している」割合はフルタイム勤務が14.0%、パートタイム勤務が19.4%、働いていないが23.0%となっています。

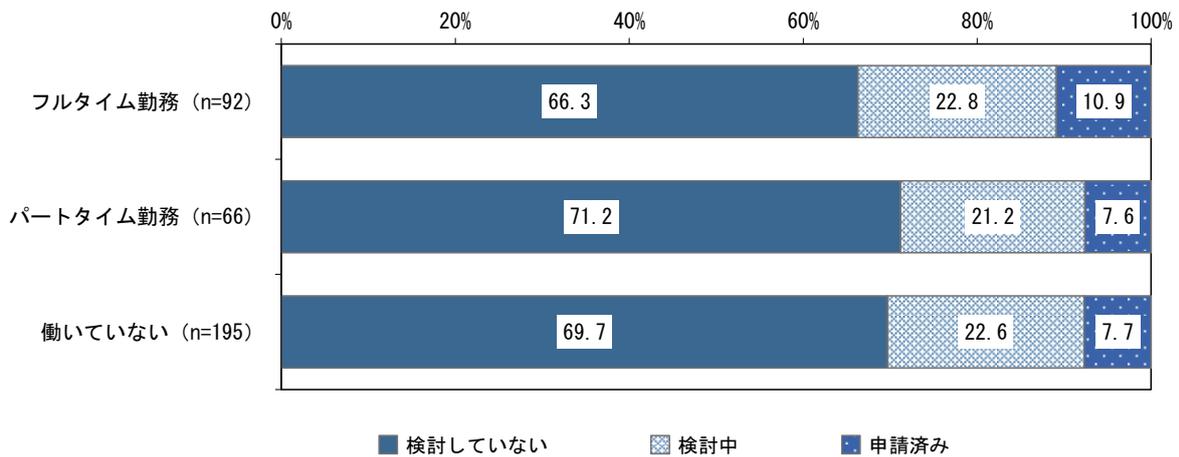
訪問診療の利用の有無 就労状況別



施設等検討の状況について、主な介護者の就労状況別にみると、全ての就労状況で「検討していない」が最も高く、フルタイム勤務では66.3%、パートタイム勤務では71.2%、働いていないでは69.7%となっています。

また、「検討中」では、フルタイム勤務が22.8%、パートタイム勤務が21.2%、働いていないが22.6%となっています。

施設等検討の状況 就労状況別

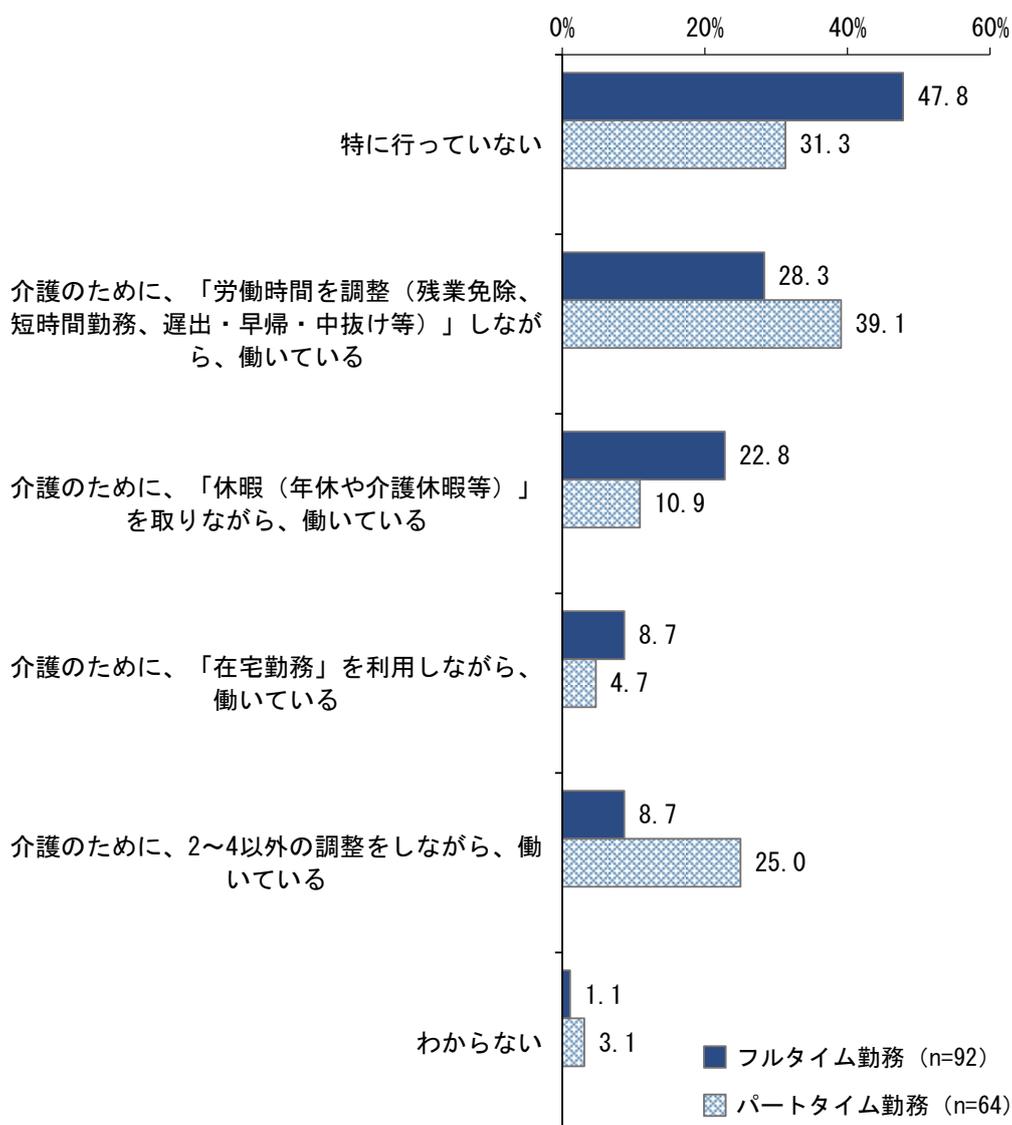


### (5) 就労状況別の介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

介護のための働き方の調整について、主な介護者の就労状況別でみると、フルタイム勤務では「特に行っていない」が47.8%で最も高くなっています。

パートタイム勤務では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が39.1%で最も高くなっています。

介護のための働き方の調整 就労状況別

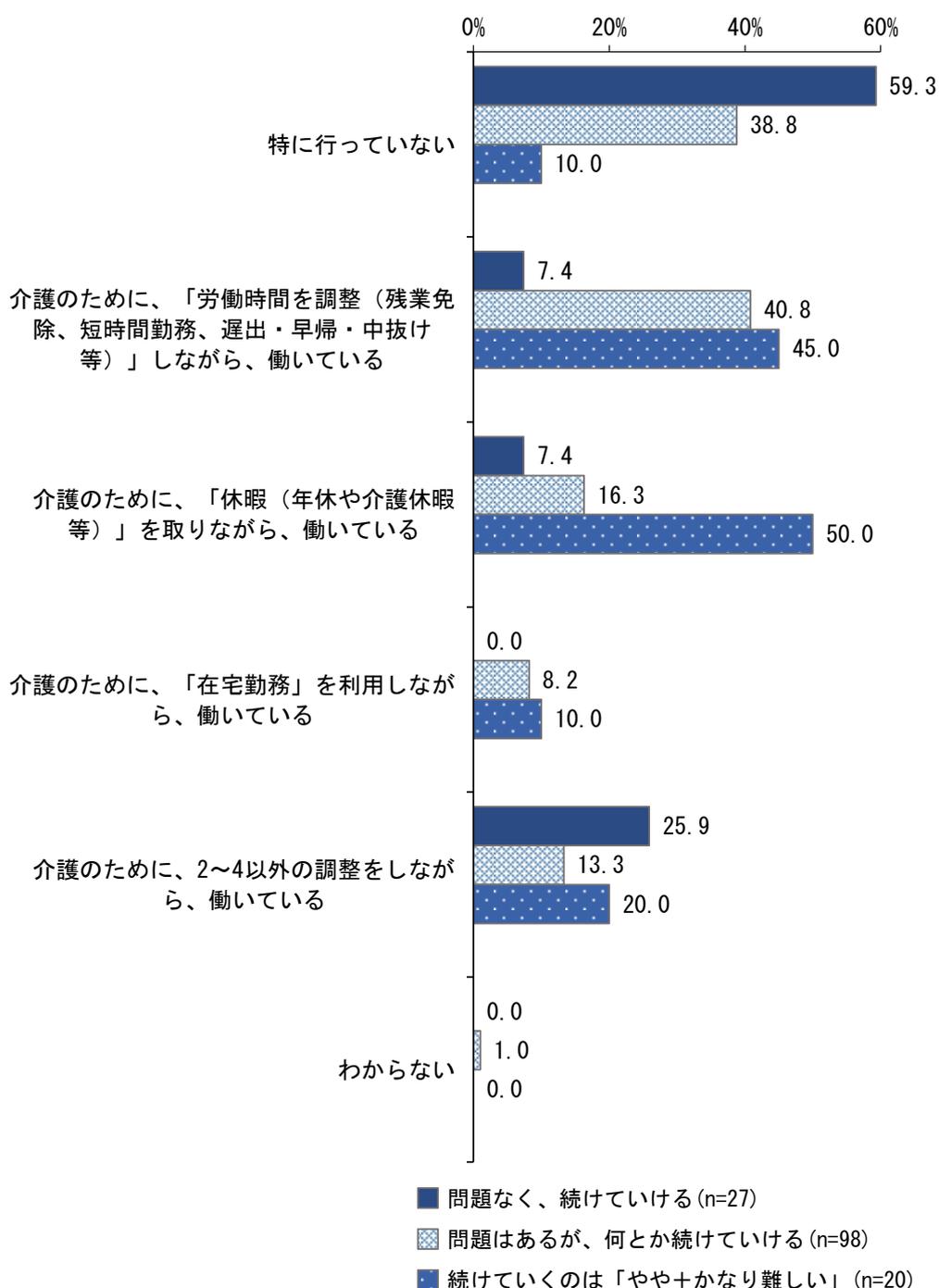


介護のための働き方の調整について就労継続見込み別でみると、問題なく、続けていけるでは「特に行っていない」が59.3%で最も高くなっています。

問題はあるが、何とか続けていけるでは、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が40.8%で最も高くなっています。

続けていくのは「やや+かなり難しい」では、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が50.0%で最も高くなっています。

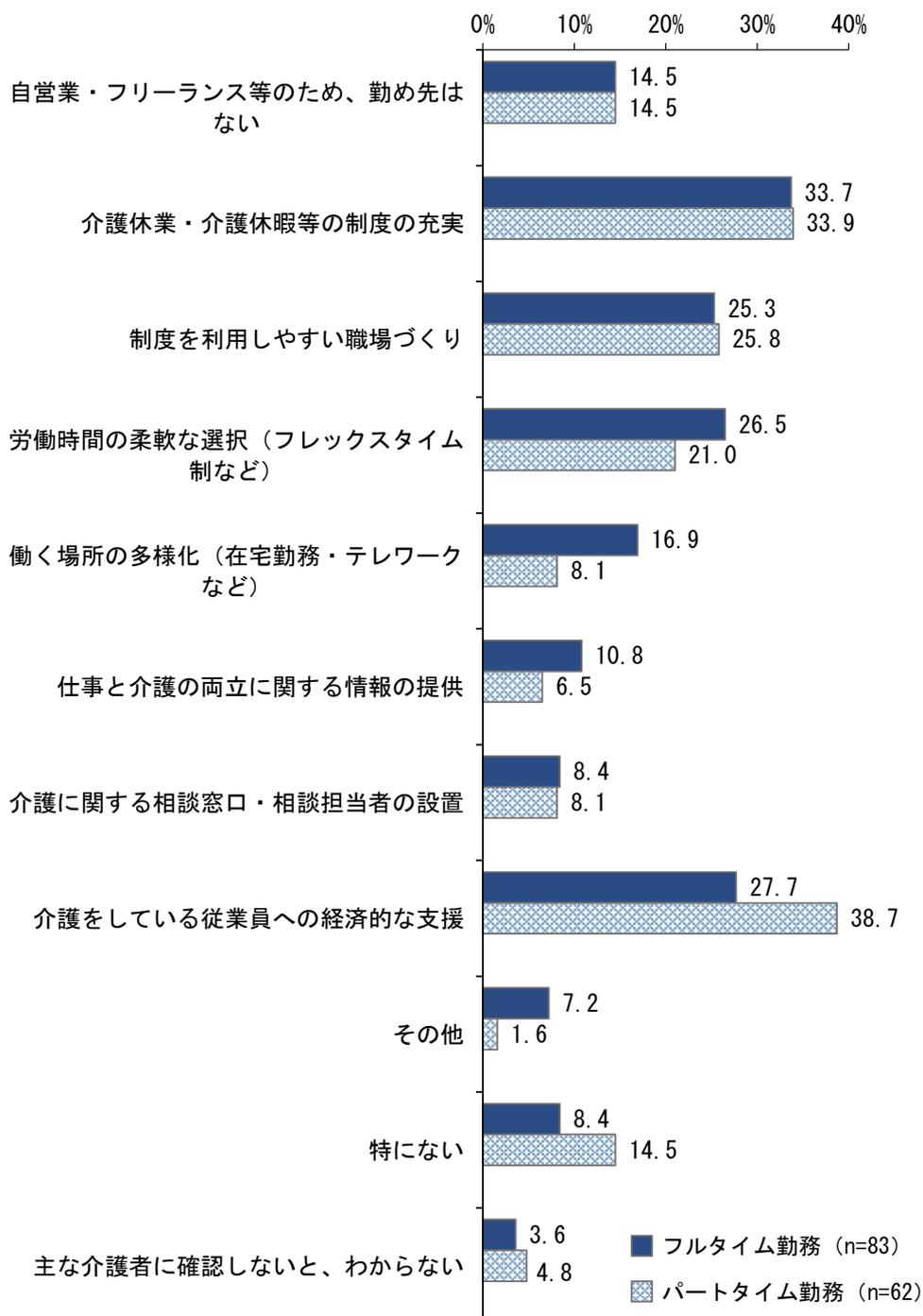
介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務） 就労継続見込み別



効果的な勤め先からの支援について、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が33.7%で最も高くなっています。

パートタイム勤務では「介護をしている従業員への経済的な支援」が38.7%で最も高くなっています。

効果的な勤め先からの支援 就労状況別

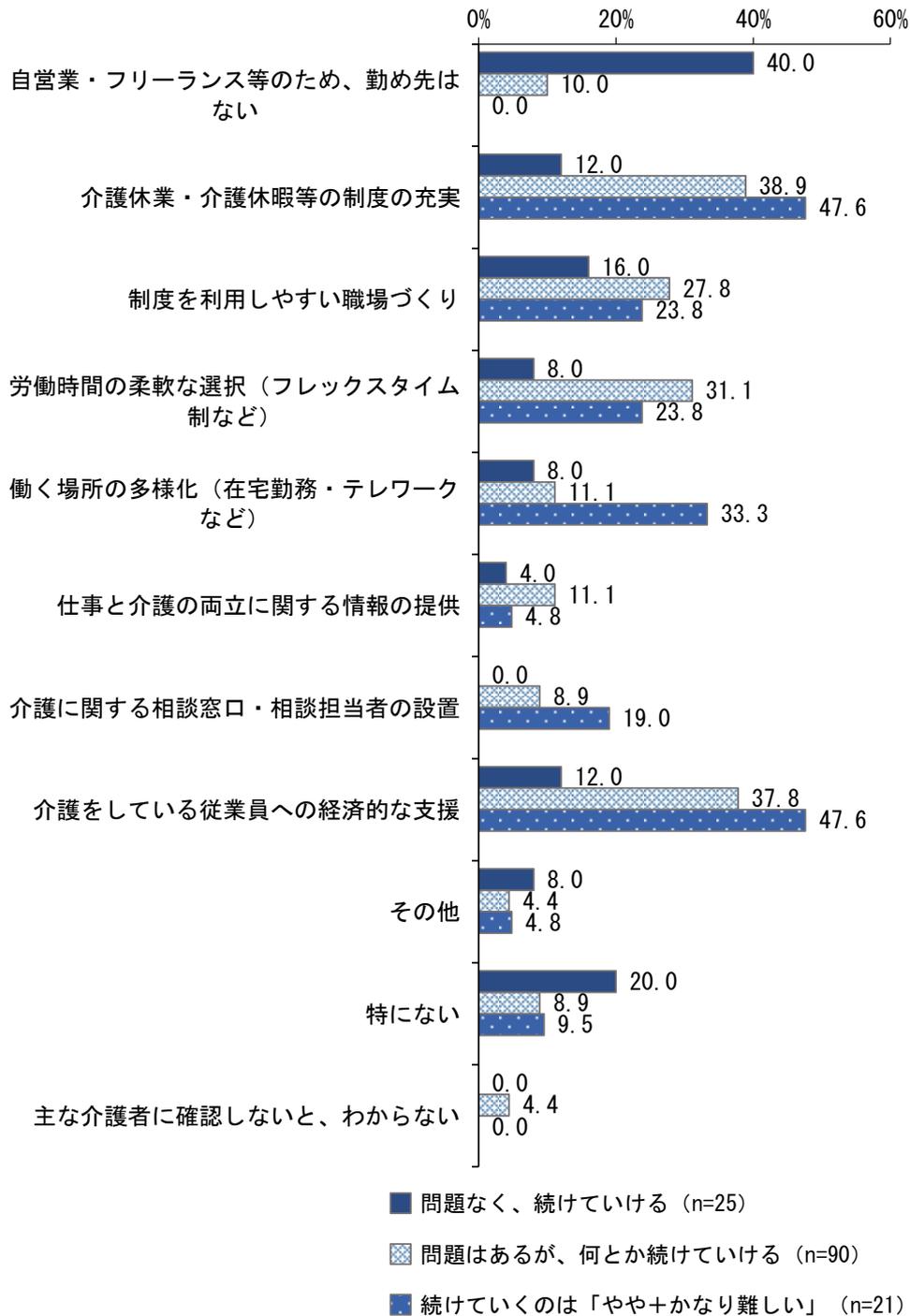


効果的な勤め先からの支援について、就労継続見込み別にみると、問題なく、続けていけるでは「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が40.0%で最も高くなっています。

問題はあるが、何とか続けていけるでは「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が38.9%で最も高くなっています。

続けていくのは「やや+かなり難しい」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」と「介護をしている従業員への経済的な支援」が47.6%で最も高くなっています。

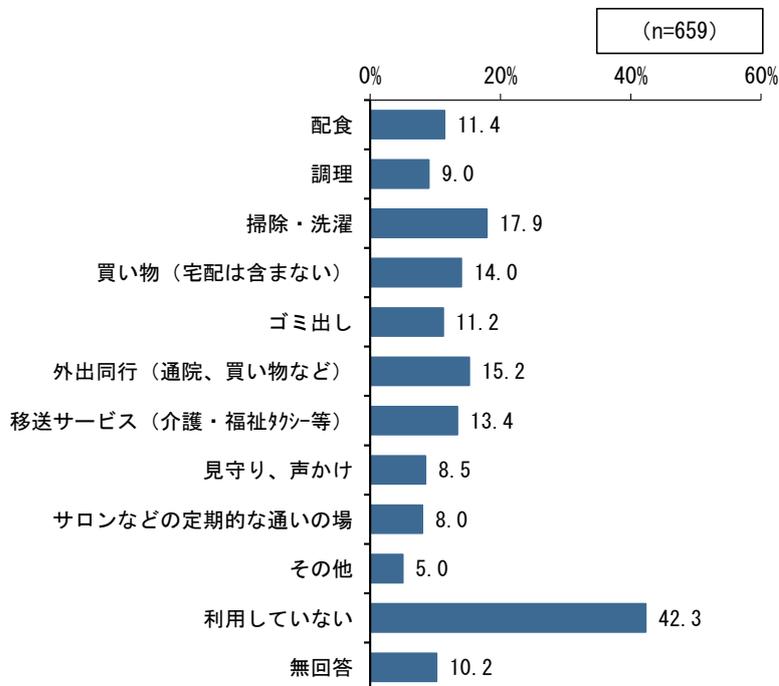
効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務+パートタイム勤務） 就労継続見込み別



## 6. 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の検討

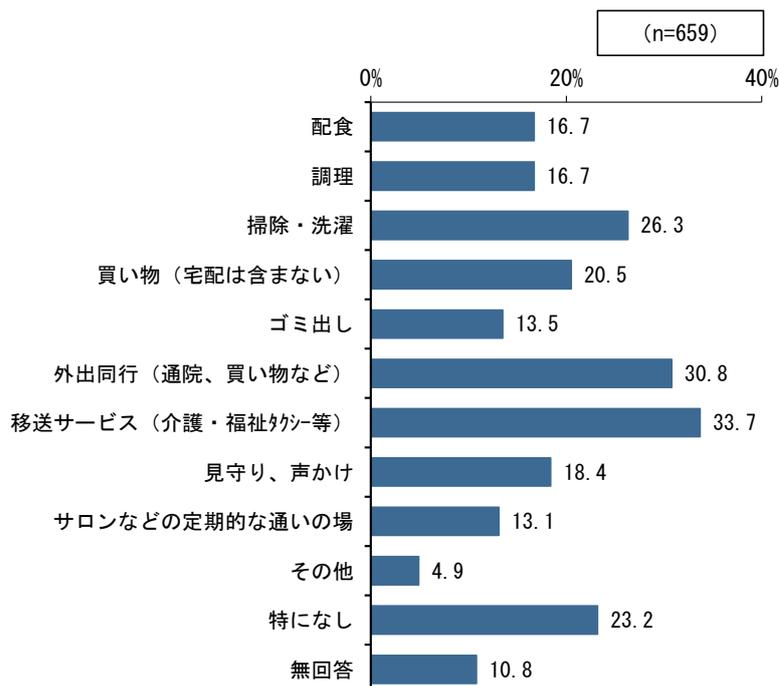
保険外の支援・サービスの利用状況について、「利用していない」が42.3%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が17.9%、「外出同行（通院、買い物など）」が15.2%と続いています。

保険外の支援・サービスの利用状況



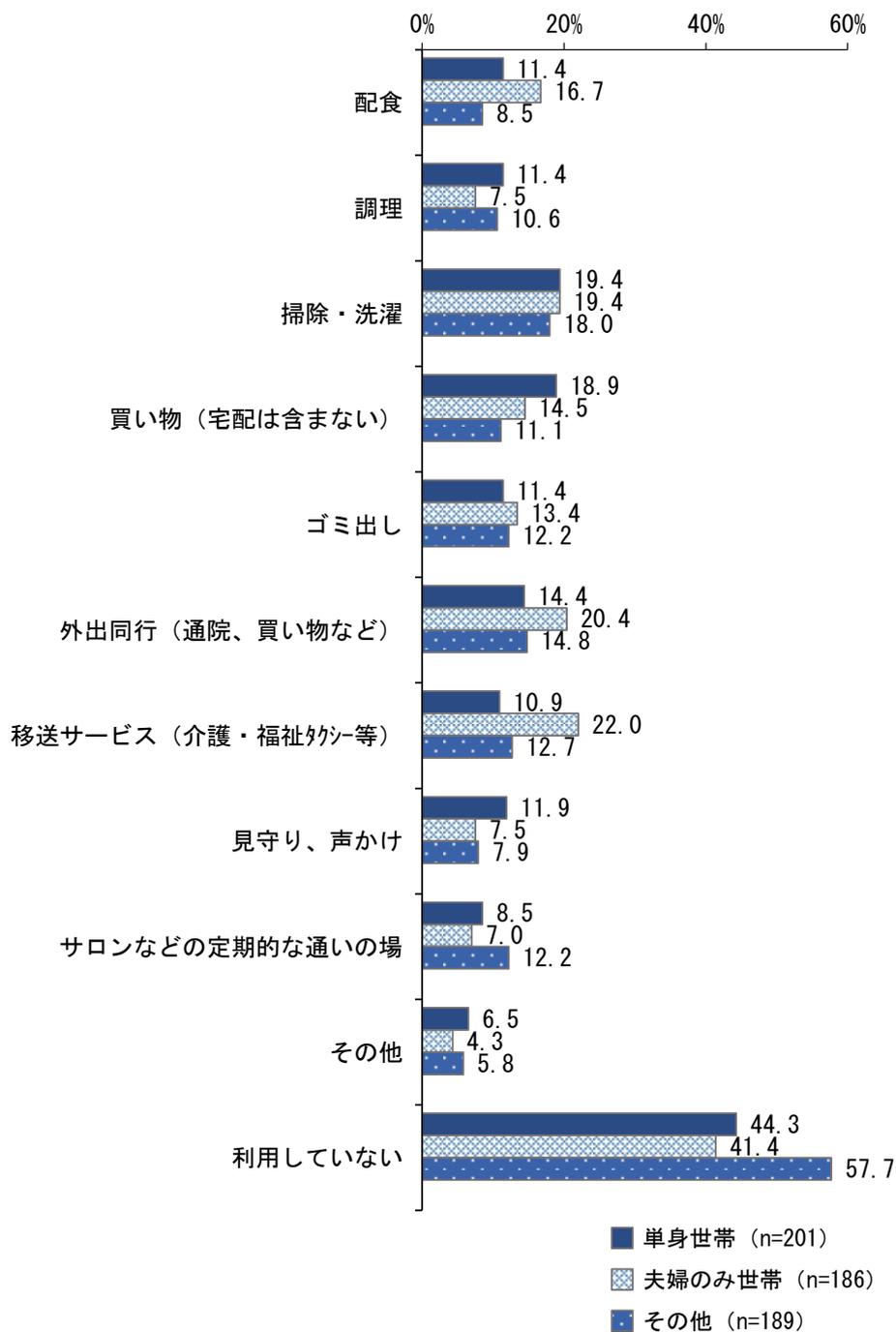
在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービスについて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.7%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が30.8%、「掃除・洗濯」が26.3%と続いています。

在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス



(1) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス  
 保険外の支援・サービスの利用状況について、世帯類型別にみると、全ての世帯類型で「利用して  
 いない」が最も高く、単身世帯が44.3%、夫婦のみ世帯が41.4%、その他が57.7%となっています。

保険外の支援・サービスの利用状況 世帯類型別

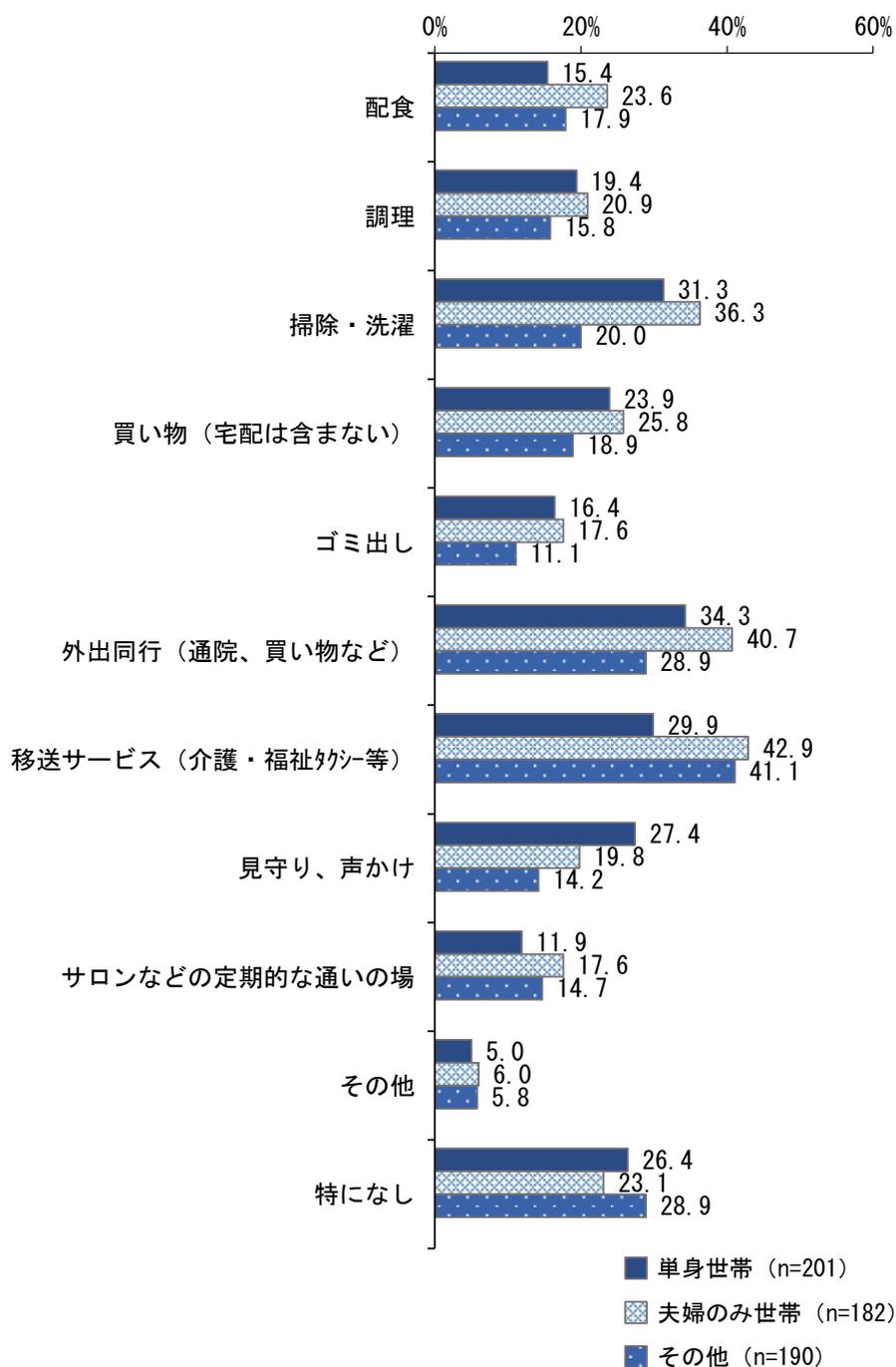


在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、世帯類型別にみると、単身世帯では「外出同行（通院、買い物など）」が34.3%で最も高くなっています。

夫婦のみ世帯では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が42.9%で最も高くなっています。

その他では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」41.4%で最も高くなっています。

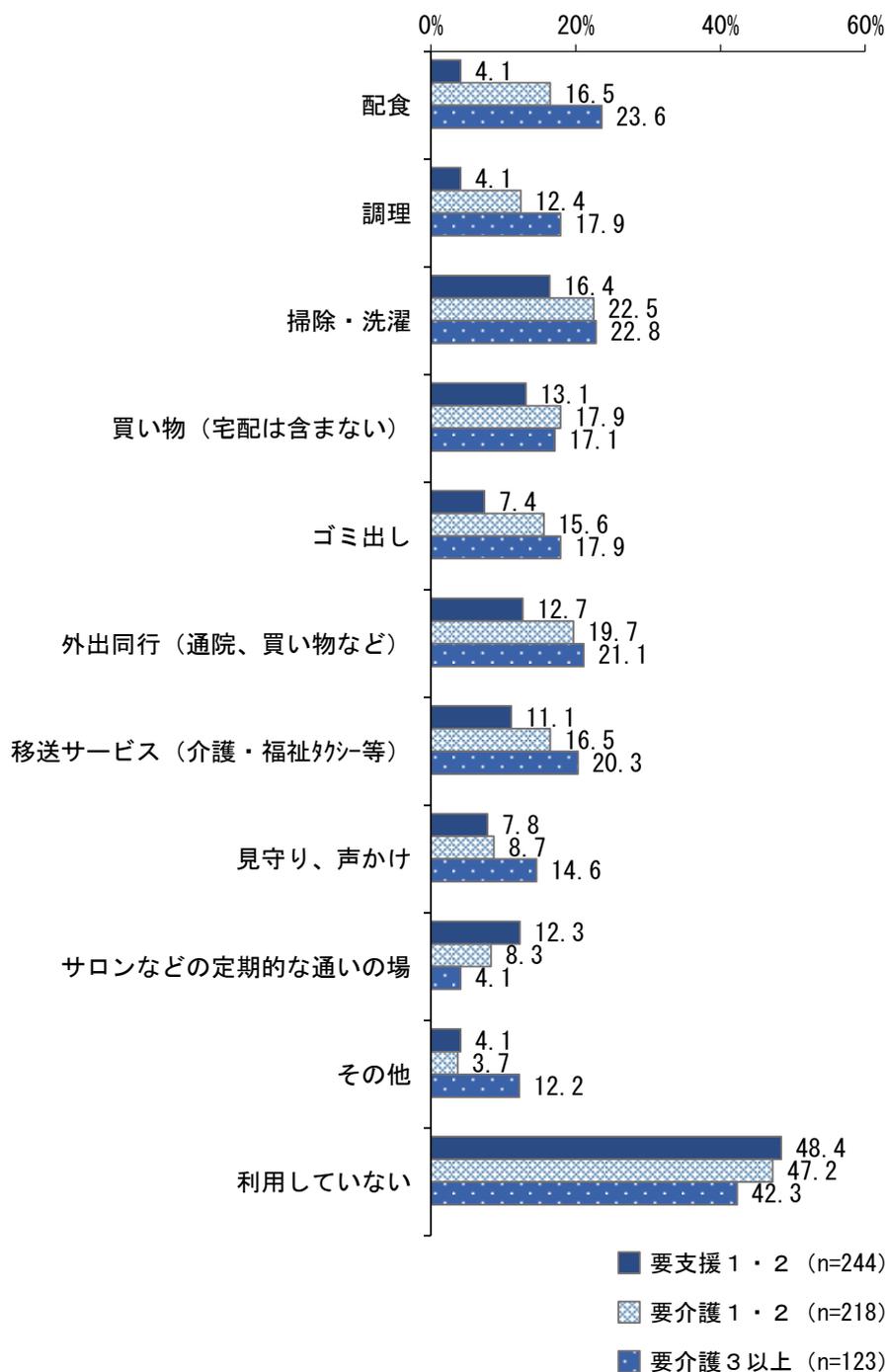
在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 世帯類型別



## (2) 要介護度別の保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

保険外の支援・サービスの利用状況について、要介護度別にみると、全ての要介護度で「利用していない」が最も高く、要支援1・2では48.4%、要介護1・2では47.2%、要介護3以上では42.3%となっています。

保険外の支援・サービスの利用状況 要介護度別

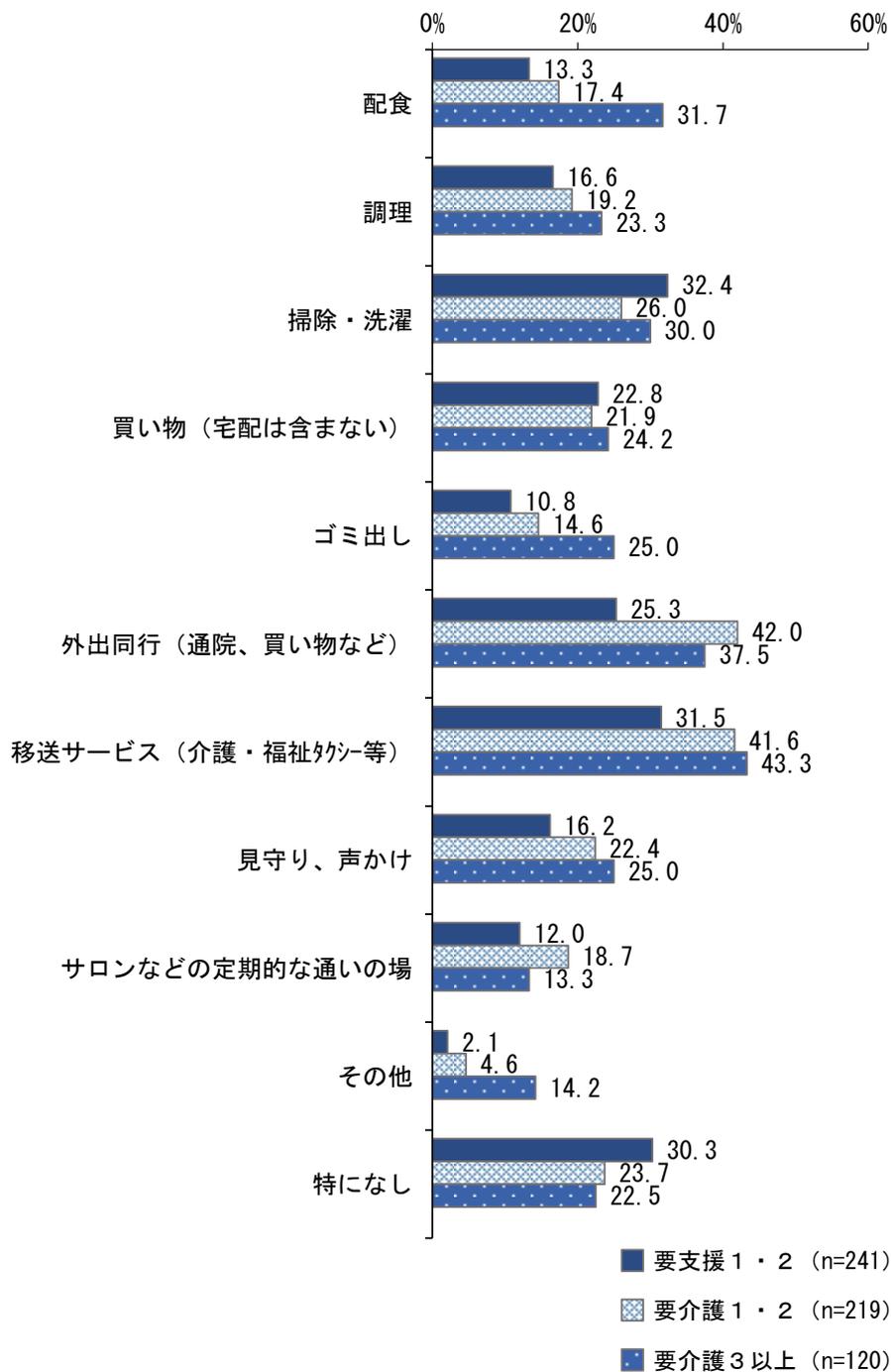


在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスの利用状況について、要介護度別にみると、要支援1・2では「掃除・洗濯」が32.4%で最も高くなっています。

要介護1・2では「外出同行（通院、買い物など）」が42.0%で最も高くなっています。

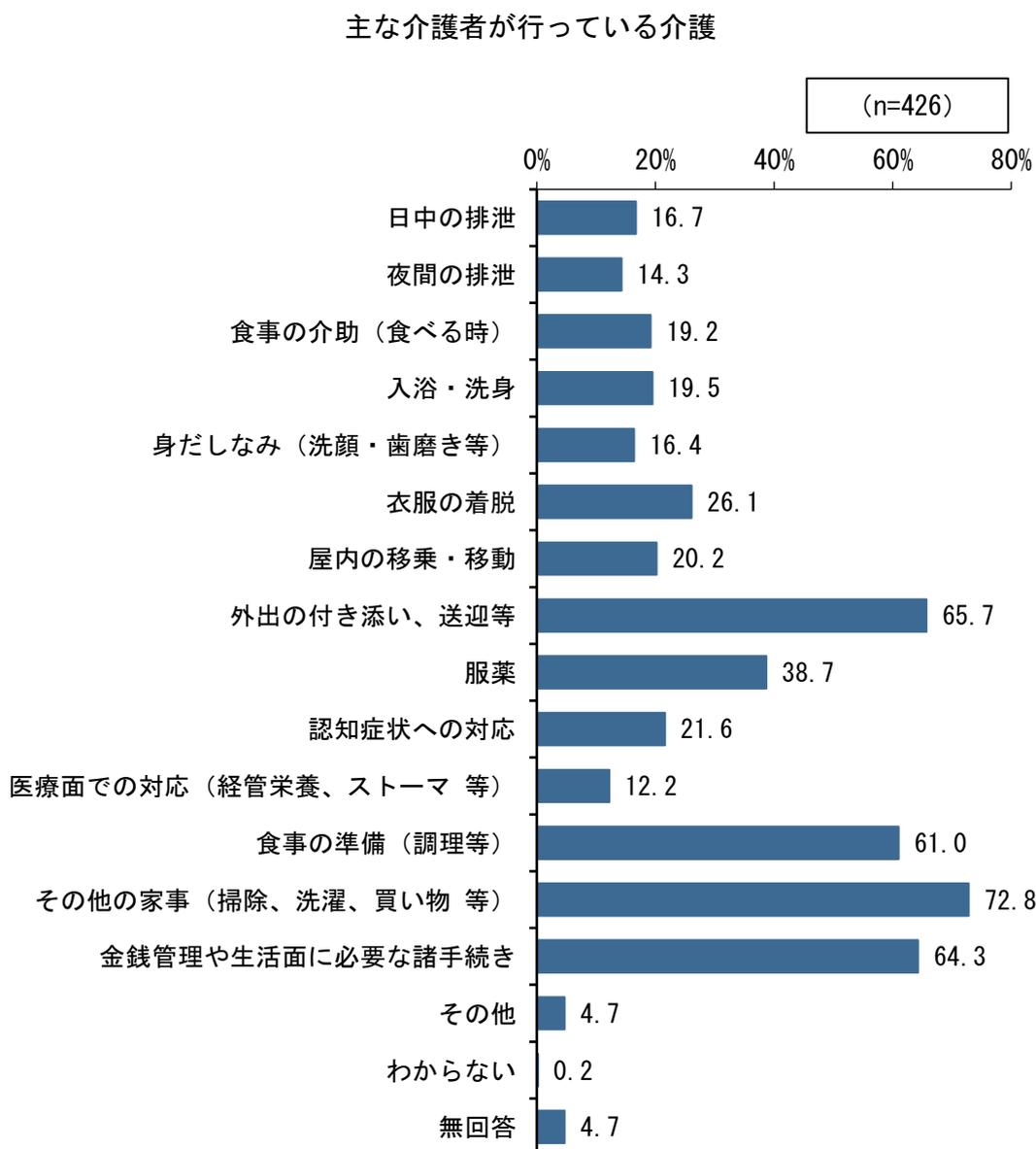
要介護3以上では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が43.3%で最も高くなっています。

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 要介護度別



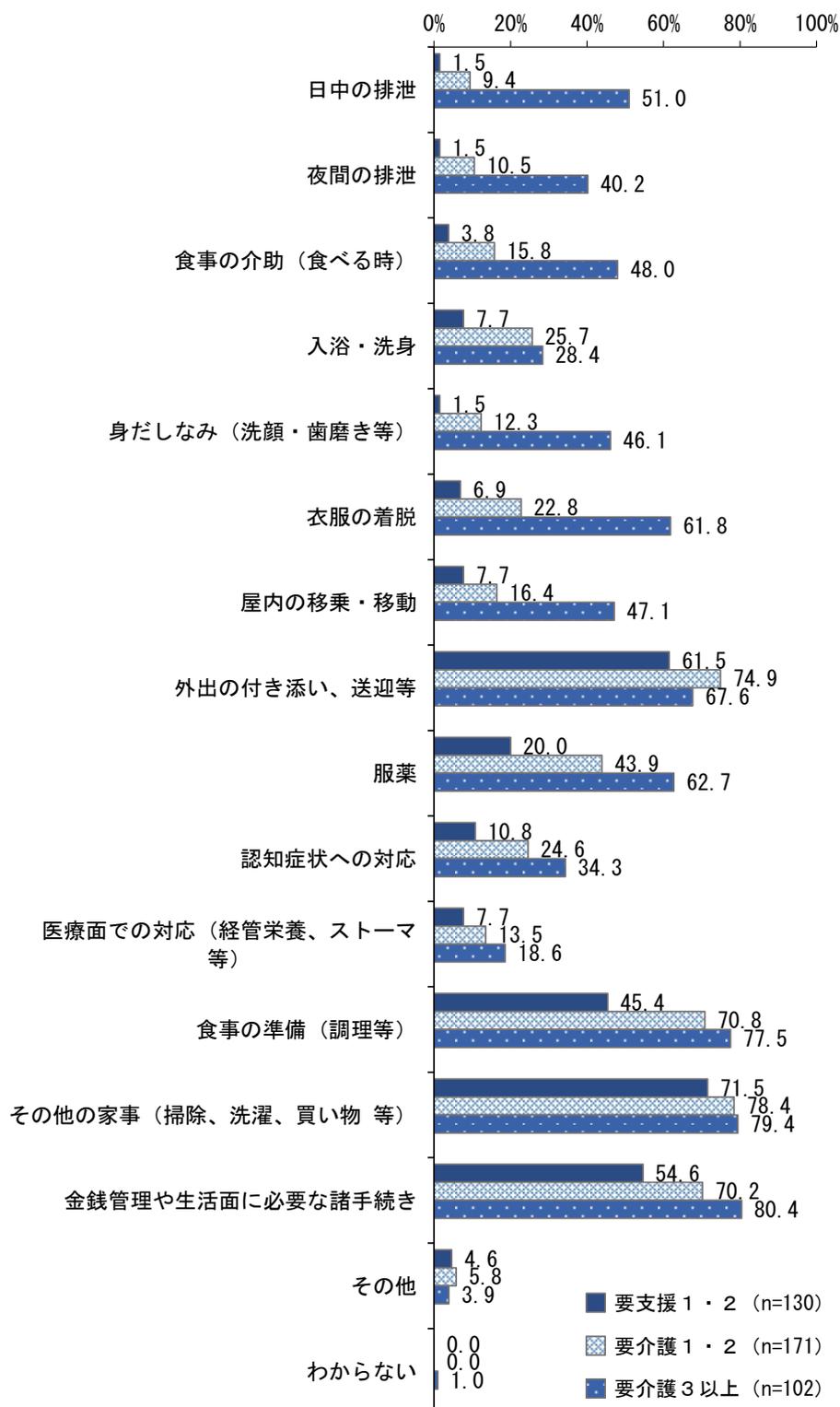
## 7. 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援の検討

主な介護者が行っている介護について、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」は12.2%となっています。



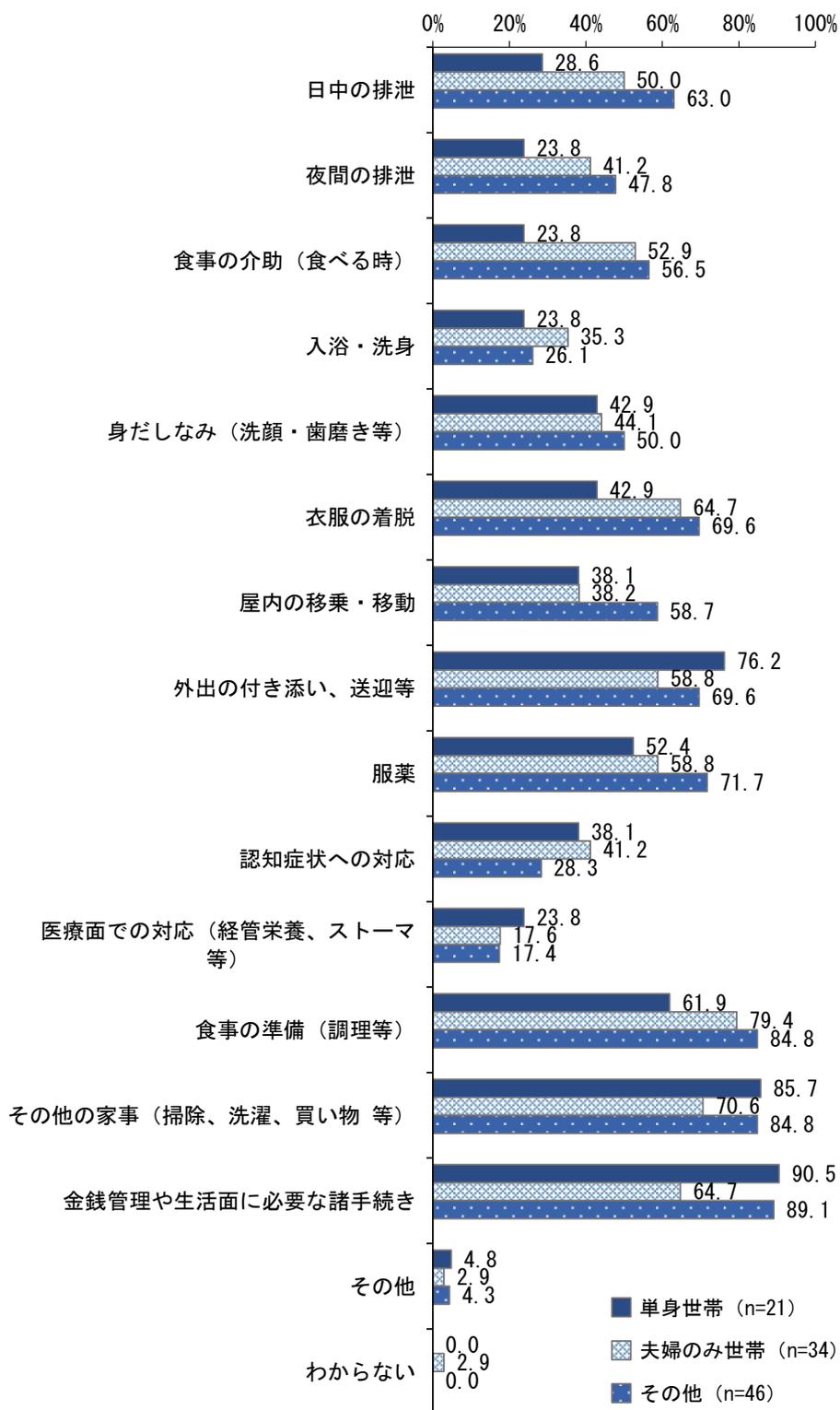
主な介護者が行っている介護について、要介護度別でみると、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」は、要支援1・2では7.7%、要介護1・2では13.5%、要介護3以上では18.6%となっています。

主な介護者が行っている介護 要介護度別



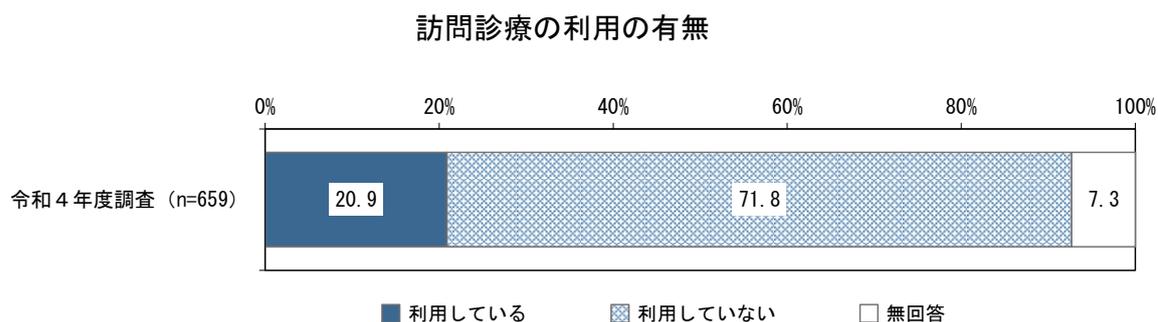
主な介護者が行っている介護について、世帯類型別でみると、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」は、単身世帯では23.8%、夫婦のみ世帯では17.6%、その他では17.4%となっています。

主な介護者が行っている介護 世帯類型別

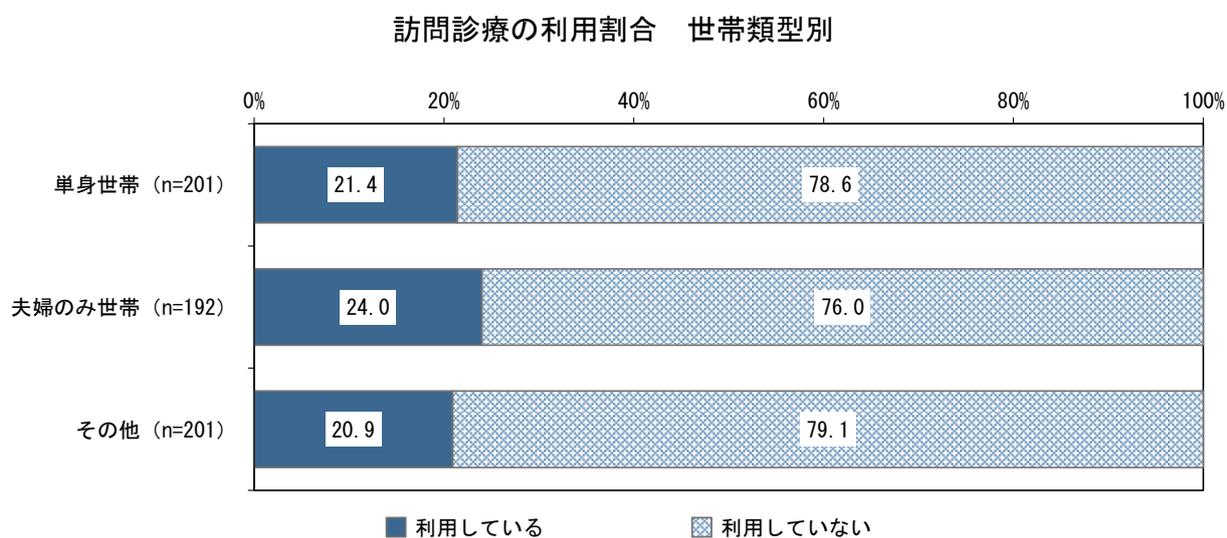


## (1) 訪問診療の利用割合

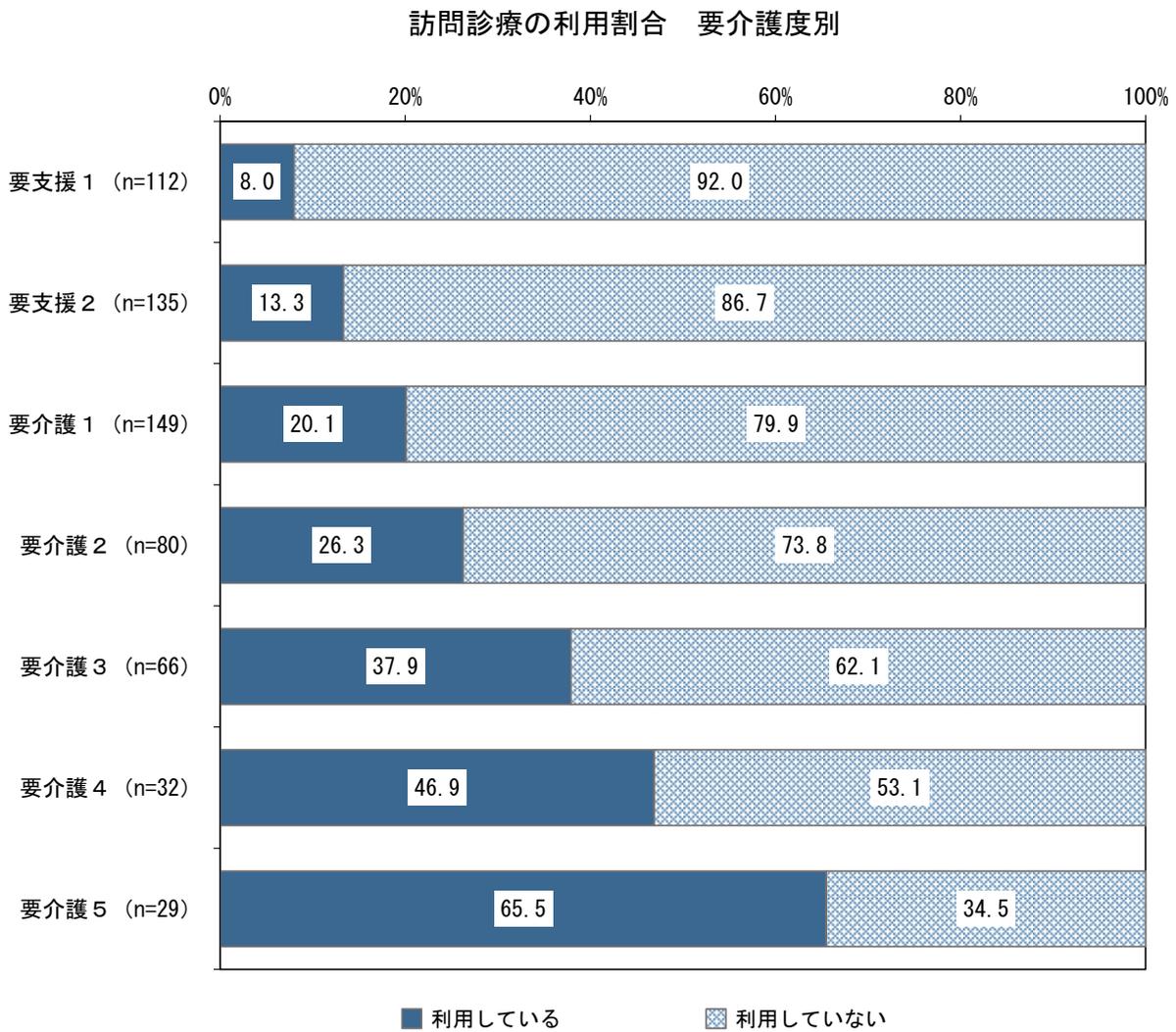
訪問診療の利用の有無をみると、「利用している」割合は20.9%となっています。



訪問診療の利用割合について、世帯類型別でみると、「利用している」割合は単身世帯で21.4%、夫婦のみ世帯で24.0%、その他で20.9%となっています。



訪問診療の利用割合について、要介護度別で見ると、要介護度が上がるにつれて「利用している」割合が高くなっており、要介護5では65.5%となっています。



## 第3章 資料（調査票）

### 高石市 在宅介護実態調査 ご協力のお願い

日頃から市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、来年度に高齢者福祉計画と介護保険事業計画の見直しを行います。

本調査は、上記計画の策定において、「家族の介護のために仕事をやめなくてもよいようにしていくためにはどのようなサービスが必要か」、「高齢者が安心して自宅での生活を続けること」と「家族など介護者の方が仕事を続けること」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的としています。

令和4年12月

高石市長 阪口 伸六

#### ご回答にあたってのお願い

1. この調査の対象者は、令和4年10月31日現在、要介護認定を受けている方とその方の主な介護者の方です。
2. ご回答にあたっては、表紙ラベルのあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
3. この調査における「介護者」とは、要介護認定者を日常的に介護している家族や親族（配偶者や子ども、兄弟姉妹等）であり、同居していない人を含みません。隣近所の人やホームヘルパー、家事代行業者（いわゆる家政婦等）は「介護者」には含みません。
4. 調査票を記入する際は、該当する番号を○で囲んでください。
5. ご回答いただきましたアンケートは、**12月20日（火）**までに同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに無記名でご投函ください。封筒には差出人の氏名の記入は不要です。

#### <お問い合わせ先>

高石市 保健福祉部 健幸づくり課 介護保険係

〒592-8585 大阪府高石市加茂 4-1-1

電話：072-265-1001（内線 1242）

## 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

### 【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市内で適切に管理いたします。

ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（〇はいくつでも）

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 1. ご本人（認定調査対象者）  | 2. 主な介護者となっている家族・親族     |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. ご本人（認定調査対象者）のケアマネジャー |
| 5. その他           |                         |

## A票 調査対象者ご本人について、お伺いします。

問1 ご本人（認定調査対象者）の世帯類型について、ご回答ください（〇はひとつ）

- |         |           |        |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご本人（認定調査対象者）は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（〇はひとつ）

- |                            |
|----------------------------|
| 1. ない ⇒問8へ                 |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない |
| 3. 週に1～2日ある                |
| 4. 週に3～4日ある                |
| 5. ほぼ毎日ある                  |

問3 問2で「2.」～「5.」と回答した方にお伺いします。ご本人（認定調査対象者）を、主に介護している方は、どなたですか（〇はひとつ）

- |        |          |          |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子     | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫   | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他   |

問4 問2で「2.」～「5.」と回答した方にお伺いします。ご本人（認定調査対象者）を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。（〇はひとつ）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 問2で「2.」～「5.」と回答した方にお伺いします。ご本人（認定調査対象者）を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください（〇はひとつ）

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代   | 3. 30代   |
| 4. 40代   | 5. 50代   | 6. 60代   |
| 7. 70代   | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問6 問2で「2.」～「5.」と回答した方にお伺いします。現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（〇はいくつでも）

**【身体介護】**

- |   |                |
|---|----------------|
| 1. 日中の排泄  | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助（食べる時）  | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）                                     | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動   | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬   | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応（経管栄養 <sup>※1</sup> 、ストーマ <sup>※2</sup> 等） |                |

**【生活援助】**

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等）       | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                        |

**【その他】**

- |         |           |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

※1 口から十分な食事を摂取できない方がチューブにより栄養剤を消化管まで運ぶ方法

※2 人工肛門もしくは人工膀胱

問7 問2で「2.」～「5.」と回答した方にお伺いします。ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（〇はいくつでも）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

**●問8からは再び、全員がご回答・ご記入をお願いいたします。**

問8 現在、ご本人（認定調査対象者）が利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（〇はいくつでも）

- |                       |                                |                   |
|-----------------------|--------------------------------|-------------------|
| 1. 配食                 | 2. 調理                          | 3. 掃除・洗濯          |
| 4. 買い物（宅配は含まない）       | 5. ゴミ出し                        | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） |                                |                   |
| 8. 見守り、声かけ            | 9. 老人センター・コミュニティカフェなどの定期的な通いの場 |                   |
| 10. その他               | 11. 利用していない                    |                   |

※総合事業（要支援者もしくは本人の申請により市町村が認めた方への支援のため、市町村が住民等の主体と共に地域の実情に応じて実施している事業）に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください  
（〇はいくつでも）

- |                       |                                |                   |
|-----------------------|--------------------------------|-------------------|
| 1. 配食                 | 2. 調理                          | 3. 掃除・洗濯          |
| 4. 買い物（宅配は含まない）       | 5. ゴミ出し                        | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） |                                |                   |
| 8. 見守り、声かけ            | 9. 老人センター・コミュニティカフェなどの定期的な通いの場 |                   |
| 10. その他               | 11. 特になし                       |                   |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等<sup>※</sup>への入所・入居の検討状況について、ご回答ください  
（〇はひとつ）

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない     | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている |                 |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。  
（〇はいくつでも）

- |                            |                           |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患（脳卒中）              | 2. 心疾患（心臓病）               |
| 3. 悪性新生物（がん）               | 4. 呼吸器疾患                  |
| 5. 腎疾患（透析）                 | 6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等） |
| 7. 膠原病（関節リウマチ含む）           | 8. 変形性関節疾患                |
| 9. 認知症                     | 10. パーキンソン病               |
| 11. 難病（パーキンソン病を除く）         | 12. 糖尿病                   |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの） | 14. その他                   |
| 15. なし                     | 16. わからない                 |

問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療<sup>※</sup>を利用していますか（〇はひとつ）

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 13 ご本人(認定調査対象者)は、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか (○はひとつ)

1. 利用している
2. 利用していない ⇒問 14 へ

問 14 問 13 で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか (○はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

問 2 で「1. ない」を選択された方 (ご家族などから介護を受けていない方)	問 2 で「2.」～「5.」を選択された方 (ご家族などから介護を受けている方)
質問は以上です。 ご協力ありがとうございました。	『B票 主な介護者の方について、お伺いします』 へ進んでください。

※主な介護者の方、もしくは、ご本人様にご回答・ご記入をお願いいたします。

**B票** 主な介護者の方について、お伺いします。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（○はひとつ）

- |                       |   |        |
|-----------------------|---|--------|
| 1. フルタイムで働いている        | } | 問2～問5へ |
| 2. パートタイムで働いている       |   |        |
| 3. 働いていない             | } | 問5へ    |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない |   |        |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（○はいくつでも）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は3つまで）

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4 問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか  
(○はひとつ)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける        | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい      | 4. 続けていくのは、かなり難しい   |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |                     |

●問5からは再び、全員がご回答・ご記入をお願いいたします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(○は3つまで)

**〔身体介護〕**

- |   |                |
|---|----------------|
| 1. 日中の排泄  | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べる時)  | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)                                     | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動   | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬   | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養 <sup>※1</sup> 、ストーマ <sup>※2</sup> 等) |                |

**〔生活援助〕**

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                        |

**〔その他〕**

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他                | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない |                      |

※1 口から十分な食事を摂取できない方がチューブにより栄養剤を消化管まで運ぶ方法

※2 人工肛門もしくは人工膀胱

質問は以上でおわりです。ご協力ありがとうございました。

記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れて、令和4年12月20日(火)までに郵便ポストに投函してください。

高石市  
在宅介護実態調査報告書

令和5年3月

高石市 保健福祉部 健幸づくり課

〒592-8585 大阪府高石市加茂4-1-1

TEL : 072-265-1001

FAX : 072-265-3100